

Acronis

Acronis Cyber Protect

Home Office



リビジョン: 2022/10/25

目次

はじめに	7
Acronis Cyber Protect Home Office とは	7
システム要件	7
Acronis Cyber Protect Home Office のインストール、アップデート、アンインストール	
Acronis Cyber Protect Home Officeの有効化	
有効化されている製品の数が多すぎます。	11
サブスクリプションライセンスを手動で管理する	12
試用版情報	
Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム	13
Acronis へのご意見の送信	13
アプリケーションの基本設定	14
キーボードショートカット	15
Touch Barとの統合	16
サポートセンターのホームページ	17
バックアップ	
基本的な概念	
バックアップ可能な対象と不可能な対象	19
ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージへのバックアップ	
Acronis Cloud とは	21
Acronis アカウントの作成	22
Acronis Cloud のサブスクリプション	22
Acronis Cloud へのバックアップ	23
Acronis Cloud にローカルバックアップをレプリケートする	25
レプリケートする理由	25
レプリケーションの有効化	25
認証バックアップ	26
ブロックチェーン技術の使用	27
ファイルの真正性の検証	28
ファイルの真正性の手動検証	29
モバイルデバイスのバックアップ	
Acronis Mobile	
モバイルバックアップのローカルのバックアップ先	31
Office 365 データのバックアップ	32
Office 365 データをバックアップする理由	32
Office 365 データのバックアップ	32

スケジュール設定	
Mac Power Nap を使用する手順は、次のとおりです。	34
バックアップの暗号化	
バックアップ、バックアップバージョン、レプリカをクリーンアップする	
Acronis Cloud でのスペースのクリーンアップ	
既存のバックアップをリストに追加する	
バックアップからの項目の除外	
手動で項目を除外する	
リカバリ可能なデータをオンライン バックアップから除外	
接続設定	40
バックアップのネットワーク設定	40
データのアップロード速度	41
バックアップアクティビティと統計	
[アクティビティ] タブ	
[バックアップ] タブ	
ラップトップ電源の設定	
Acronis Cloud へのバックアップ用の Wi-Fi ネットワーク	43
通知	44
macOS 通知センターでの通知	44
Acronis トレイ通知センターでの通知	44
電子メールによるバックアップステータスの通知	44
Parallels Desktopのサポート	45
Parallels Desktopとは	45
Acronis Cyber Protect Home Office では Parallels Desktop 仮想マシン	がどのように処理されるの
ですか?	45
どのように動作しますか?	45
どの仮想マシンがバックアップされますか?	
仮想マシンをリカバリするにはどうすればよいですか?	
制限	
バックアップリスト	47
バックアップの状態	
リスト内でのバックアップの並べ替え	
ブータブルメディアの作成	
Acronis ブータブルメディア の作成	
Acronis Survival Kit の作成	50
Acronis Survival Kit とは	
Acronis Survival Kit を作成するにはどうしたらよいですか?	51

リカバリ	53
Mac をリカバリするタイミング	
Mac のリカバリ	
Boot Camp パーティションに関する FAQ	
ファイルとフォルダのリカバリ	
Office 365 データの復元	
復元可能なアイテム	
Office 365 データの復元	
バックアップの内容の検索	
ファイルリカバリオプション	
Acronis Cloud Backup Download	
ディスクのクローン作成	
ディスクのクローン作成ユーティリティ	
ディスクのクローンを作成	
Fusion Drive のクローン作成	
2 台の Mac の接続	
家族間のデータ保護	
家族間のデータ保護とは	
新しいデバイスの追加	
任意のコンピュータのバックアップ	
オンラインダッシュボードでのデータの復元	
データのアーカイブ	
データのアーカイブについて	
アーカイブから除外されるもの	
クラウドアーカイブとオンラインバックアップ	
データのアーカイブ作成	
アーカイブのネットワーク設定	
アーカイブの暗号化	72
アーカイブ済みファイルへのアクセス	
データの共有	
保護	
[保護] ダッシュボード	
Active Protection	74
ランサムウェア対策保護	
リアルタイム保護	
Active Protection の設定	
ウィルス対策スキャン	77

ウィルス対策スキャンの設定	77
脆弱性アセスメント	
索引	

著作権情報

© Acronis International GmbH, 2003-2022.All rights reserved.

ユーザーズ ガイドに掲載されているすべての商標や著作権は、それぞれ各社に所有権があります。

著作権者の明示的許可なく本書を修正したものを配布することは禁じられています。

著作権者の事前の許可がない限り、商用目的で書籍の体裁をとる作品または派生的作品を販売させるこ とは禁じられています。

本書は「現状のまま」使用されることを前提としており、商品性の黙示の保証および特定目的適合性ま たは非違反性の保証など、すべての明示的もしくは黙示的条件、表示および保証を一切行いません。 だし、この免責条項が法的に無効とされる場合はこの限りではありません。

本ソフトウェアまたはサービスにサードパーティのコードが付属している場合があります。サードパー ティのライセンス条項の詳細については、ルート インストール ディレクトリにある license.txt ファイ ルをご参照ください。ソフトウェアまたはサービスで使用されているサードパーティコードおよび関連 ライセンス条件の最新の一覧については https://kb.acronis.com/content/7696(英語)をご参照くださ い

Acronis の特許取得済みの技術

この製品で使用されている技術は、以下の番号の1つ以上の米国特許によって保護されています。 7,047,380号、7,246,211号、7,275,139号、7,281,104号、7,318,135号、7,353,355号、7,366,859号、 7,383,327号、7,475,282号、7,603,533号、7,636,824号、7,650,473号、7,721,138号、7,779,221号、 7,831,789号、7,836,053号、7,886,120号、7,895,403号、7,934,064号、7,937,612号、7,941,510号、 7,949,635号、7,953,948号、7,979,690号、8,005,797号、8,051,044号、8,069,320号、8,073,815号、 8,074,035号、8,074,276号、8,145,607号、8,180,984号、8,225,133号、8,261,035号、8,296,264号、 8,312,259号、8,347,137号、8,484,427号、8,645,748号、8,732,121号、8,850,060号、8,856,927号、 8,996,830号、9,213,697号、9,400,886号、9,424,678号、9,436,558号、9,471,441号、9,501,234号、お よび出願中特許。

はじめに

Acronis Cyber Protect Home Office とは

Acronis Cyber Protect Home Office とは、オペレーティングシステム、アプリケーション、設定、すべてのデータなど、お使いの Mac の情報をすべて保護するアプリケーションです。

Mac を保護するには、2つの簡単な操作を実行する必要があります。

1. Mac の完全バックアップを作成する

この操作により、オペレーティングシステムのファイルおよびすべてのデータが、バックアップと いうファイルに保存されます。 このファイルはローカルストレージやネットワークストレージに保 存したり、Acronis Cloud にアップロードしたりすることができます。 詳しくは、「ローカルスト レージまたはネットワークストレージへのバックアップ」、「Acronis Cloud へのバックアップ」を 参照してください。

2. Acronis ブータブルメディア を作成します。

これは、ブート ファイルが格納されているリムーバブルドライブです。Mac が起動できなくなった 場合は、このメディアによって、Acronis のリカバリ環境を起動し、バックアップを使用して、正常 な状態に Mac をロールバックできます。詳細については、Acronis ブータブルメディア の作成を参 照してください。

この2つの手順を実行することで、macOSの修復、および見つからなくなったドキュメントのリカバリを数分で実行できるようになります。

主な機能:

- 選択したディスクまたは Mac 全体の内容のローカルストレージ、ネットワークストレージ、または Acronis Cloud へのバックアップ
- 選択したファイルやフォルダのローカルストレージやネットワークストレージまたは Acronis Cloud へのバックアップ
- ウィルス対策保護
- データアーカイブ
- 複数デバイスのデータ保護
- Acronis ブータブルメディア の作成
- ブータブルメディア環境での macOS のリカバリ
- macOS での特定のファイルやフォルダのリカバリ

システム要件

サポートされるオペレーティング システム

- macOS Ventura 13
- macOS Monterey 12
- macOS Big Sur 11

- macOS Catalina 10.15
- macOS Mojave 10.14

注意

Intel Core 2 Duo プロセッサを搭載した Mac マシンはサポートされません。

サポートされるファイル システム

- APFS
- HFS+ (Core Storage を含む)
- FAT32
- NTFS (Boot Camp を含む)

注意

NTFS ファイル システムではディスクにデータをバックアップできません。ただし、この種類のファ イル システムに存在するバックアップからデータをリカバリすることはできます。

Acronis ブータブルメディア の要件

- ブータブルメディアを作成するには、APFS または Mac OS 拡張ファイルシステムでフォーマットされ、4.3GB 以上の空き容量があるリムーバブルドライブを使用できます。
- macOS 復元のバージョンは使用している Mac にインストールされた macOS のバージョンと一致していなければなりません。
- CD および DVD メディアはサポートされていません。

サポートされるストレージ メディア

- 内蔵ドライブ (HDD、SSD)
- SoftRAID® (ファイルとフォルダのバックアップと復元に対応)
- USB ドライブ
- FireWire ドライブ
- Thunderbolt ドライブ
- ネットワーク共有、NAS
- Acronis Cloud

サポートされていない構成

• Apple RAID およびその他の RAID (サポートされているストレージメディアにリストされているもの を除く)

サポートされるプロセッサ

- Apple シリコン
- Intel (x86)

一般的な要件

- Acronis Cyber Protect Home Office を実行するための管理者権限が必要になります。
- [macOS Big Sur 11、Monterey 12、および Ventura 13 を除く、Intel ベースの Mac の場合] お使いの Mac が Apple T2 チップを搭載している場合、セキュアブート設定で [中程度のセキュリティ] と [外部メディアからの起動を許可] を選択してください。詳細については、 https://support.apple.com/ja-jp/HT208330 を参照してください。
- [macOS Big Sur 11、Monterey 12、および Ventura 13の、Intel ベースの Mac の場合] お使いの Mac が Apple T2 チップを搭載している場合、セキュアブート設定で [セキュリティなし] と [外部メ ディアからの起動を許可] を選択してください。詳細については、https://support.apple.com/jajp/HT208330 を参照してください。

ダークモードのサポート

ダークモードは macOS Mojave 以降で使用できます。macOS でダークモードがオンの場合、Acronis Cyber Protect Home Office はダーク表示に切り替わります。

Acronis Cyber Protect Home Office のインストール、 アップデート、アンインストール

Acronis Cyber Protect Home Office をインストールするには、次のようにします。

- Acronis Web サイト (https://go.acronis.com/home-office) から Acronis Cyber Protect Home Office セットアップファイルをダウンロードします。
- 2. Acronis Cyber Protect Home Office のセットアップファイル(ファイルの拡張子は.dmg)をダブル クリックします。
- 3. [Acronis Cyber Protect Home Office] ウィンドウで、[Acronis Cyber Protect Home Office のイ ンストール] をダブルクリックします。
- 4. インストーラーの手順に従います。プロンプトが表示されたら、管理者の資格情報を入力します。
- 5. ライセンス契約の条件および Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラムの内容を読み、承諾し ます。
- 6. Acronis Cyber Protect Home Office を初めて起動する場合は、**[アクティベーション]** ウィンドウ で、以下のいずれかを行うことができます。
 - Acronis Cyber Protect Home Office を有効化するには、シリアルナンバーを入力して、**[有効化]** をクリックします。製品が有効化されます。
 - Acronis のマイアカウントにサインインするには、[サインイン]をクリックします。詳細については、「"Acronis Cyber Protect Home Officeの有効化"(10ページ)」を参照してください。
 - 試用を開始するには、[試用の開始]をクリックします。

macOS Mojave 10.14 または Catalina 10.15 では、インストール後に Acronis International GmbH への アクセスを許可する必要があります。これは、すべての保護機能を使用するためにカーネル拡張を読み 込むのに必要です。次のことを行ってください。

- 1. [システム環境設定]を開きます。
- 2. [セキュリティとプライバシー]の[一般]タブに移動します。
- 3. [許可]をクリックして、表示されるプロンプトの内容を受け入れます。

Acronis Cyber Protect Home Office へのフルディスクアクセスを許可する必要もあります。macOS Mojave 10.14 または Catalina 10.15 では、フルディスクアクセスがないと、バックアップ、クローン作 成、および保護が正常に動作しません。macOS Big Sur 11、Monterey 12、およびVentura 13 では、フ ルディスクアクセスがないと、バックアップとクローン作成が正常に動作せず、保護は無効になりま す。アクセスを与えるには、フルディスクアクセスを求めるウィンドウが表示されたときに、画面に表 示された指示に従ってください。詳細については、https://kb.acronis.com/content/61832 を参照して ください。

Acronis Cyber Protect Home Office をアップデートするには、次のようにします。

Acronis Cyber Protect Home Office のアップデートが Acronis Web サイトから入手可能になると、通 知が送られます。それ以降、ダウンロードが可能になります。 その後、お使いの Acronis Cyber Protect Home Office のバージョンを上書きしてインストールできます。バックアップおよび設定はすべて保持 されます。

自動確認をオンにするには、[Acronis Cyber Protect Home Office] メニューで、[基本設定] をクリック し、[起動時にアップデートを自動確認] チェックボックスをオンにします(デフォルトで選択されてい ます)。

アップデートを手動で確認するには、[Acronis Cyber Protect Home Office] メニューで、[アップデートの確認] をクリックします。

Acronis Cyber Protect Home Office を削除するには、次のようにします。

- Acronis Web サイトから Acronis Cyber Protect Home Office のセットアップファイルをダウンロー ドします。
- Acronis Cyber Protect Home Office のセットアップファイル(ファイルの拡張子は.dmg)をダブル クリックします。
- [Acronis Cyber Protect Home Office] ウィンドウで、[Acronis Cyber Protect Home Office のア ンインストール] をダブルクリックし、さらにアンインストールを確認します。
- 4. プロンプトが表示されたら、管理者の資格情報を入力します。

Acronis Cyber Protect Home Officeの有効化

Acronis Cyber Protect Home Office を使用するには、インターネット経由でこれを有効化する必要があ ります。有効化しない場合、製品の全機能の利用有効期間は 30 日です。この期間にアクティブ化しな いと、リカバリ以外のすべての機能が利用できなくなります。

Acronis Cyber Protect Home Office の有効化は、お使いのコンピュータ上で、またはお使いのコン ピュータがインターネットに接続されていない場合は他のコンピュータから実行できます。

インターネットに接続されているコンピュータ上でのアクティブ化

コンピュータがインターネットに接続されている場合、製品のアクティブ化は自動的に実行されます。

Acronis Cyber Protect Home Office をインストールするコンピュータがインターネットに接続されてい ない場合、またはプログラムが Acronis Activation Server に接続できない場合は、サイドバーの [アカ ウント] をクリックし、次のいずれかの操作を行います。

- もう一度試す Acronis Activation Server に再度接続する場合は、このオプションを選択します。
- オフラインでアクティブ化 インターネットに接続されている他のコンピュータから手動でプログラムをアクティブ化できます(以下を参照)。

他のコンピュータからのアクティブ化

お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、インターネットに接続されている 他のコンピュータを使用して Acronis Cyber Protect Home Office を有効化できます。

他のコンピュータから製品を有効化する手順は、次のとおりです。

- 1. コンピュータに Acronis Cyber Protect Home Office をインストールして起動します。
- 2. サイドバーの [アカウント] をクリックし、[オフラインでアクティブ化] をクリックします。
- 3. [Acronis Cyber Protect Home Office のアクティブ化] ウィンドウで、次に示す簡単な手順を実行し ます。
 - a. **[ファイルに保存]** ボタンをクリックして、インストール コードをファイルに保存し、ファイルの 保存先としてリムーバブル メディア(USB フラッシュ ドライブなど)を指定します。このコー ドを紙に書き留めておいてもかまいません。
 - b. インターネットに接続されている他のコンピューターで、https://www.acronis.co.jp/activation/ を開きます。画面上の指示に従って、インストール コードを使用してアクティブ化コードを取得 します。取得したアクティブ化コードをリムーバブルメディアのファイルに保存するか、紙に書 き留めます。
 - c. お使いのコンピュータで、[**ファイルから読み込む**] ボタンをクリックし、アクティブ化コードを 含むファイルへのパスを指定するか、紙に書き留めた情報をボックスに入力します。
- 4. [アクティブ化] をクリックします。

さらに、https://goo.gl/DHd1h5のビデオ解説(英語)をご覧ください。

有効化されている製品の数が多すぎます。

「有効化されている製品の数が多すぎます」という問題には、以下の原因が考えられます。

Acronis Cyber Protect Home Office がインストールされているコンピュータの数が最大数を超えている。

たとえば、コンピュータ1台分のライセンスまたはシリアルナンバーを所有するユーザーが、2台目 のコンピュータに Acronis Cyber Protect Home Office をインストールする場合などです。

解決策:

- 新しいシリアルナンバーを入力します。新しいシリアルナンバーを所有していない場合、Acronis ビルトインストアまたは Acronis Web サイトで購入できます。
- 製品がすでにアクティブ化されている別のコンピュータから、新しいコンピュータにライセンスを 移動します。そのためには、ライセンスの移動元のコンピュータを選択します。選択したコン ピュータで Acronis Cyber Protect Home Office が無効化されることに注意してください。
- macOS を再インストールするか、コンピュータのハードウェアを変更する。

例えば、ご使用のコンピュータのマザーボードまたはプロセッサをアップグレードしたとします。この場合、Acronis Cyber Protect Home Office ではそのコンピュータが新しいコンピュータとして認識 されるので、無効になります。

解決策:

ご使用のコンピュータで Acronis Cyber Protect Home Office を再び有効化するには、リストから、 古い名前で識別されるその同じコンピュータを選択します。

サブスクリプションライセンスを手動で管理する

Acronis Cyber Protect Home Office のサブスクリプションベースのバージョンを使用している場合、 Acronis Web サイトでライセンスを手動で管理することができます。次の処理を実行できます。

- コンピュータ間でのライセンスの移動
- アカウント間でのライセンスの転送
- コンピュータからのライセンスの削除
- 製品のアクティブ化の解決(「アクティブ化されている製品の数が多すぎる」問題を含む)
- 新規ライセンスの購入

ライセンスを管理するには、次のようにします。

- 1. https://account.acronis.com/ にアクセスし、Acronis アカウントでサインインします。
- 2. [製品] セクションで、Acronis Cyber Protect Home Office を見つけて [管理] をクリックします。

試用版情報

Acronis Cyber Protect Home Office を初めて試用し、評価する場合は、製品の 30 日間の無償試用版を インストールすることができます。試用期間後、プログラムの機能はブロックされるため、引き続き Acronis Cyber Protect Home Office を使用するには製品版にアップグレードする必要があります。ディ スクのクローン作成は試用版では使用できないことに注意してください。

試用期間が終了した後でも、ローカルおよびネットワーク上のバックアップは削除されず、Acronis Cyber Protect Home Office の製品版でリカバリする際に使用できます。

試用期間中、クラウドのストレージ容量は1,000 GBになります。この容量を使用してオンラインバック アップを保存できます。試用期間終了後 30 日間、Acronis Cloud はリカバリ専用モードで動作します。 この期間が過ぎると Acronis Cloud サービスは利用できなくなり、データはすべて削除されます。

試用版をインストールするには、次のようにします。

試用版の使用を開始するには、製品をインストールして、**[アクティベーション]** ウィンドウで **[試用を開始]** をクリックします。詳細については、「Acronis Cyber Protect Home Office のインストール、 アップデート、アンインストール」を参照してください。

製品版にアップグレードする手順は、次のとおりです。

- 1. Acronis Web サイト(https://go.acronis.com/mac/getfullversion)で製品版を購入します。
- 2. Acronis Cyber Protect Home Office を開きます。
- 3. [Acronis Cyber Protect Home Office] メニューバーで [プロダクトキーの入力] をクリックします。
- 4. 該当するボックスに完全なシリアルナンバーを入力して、[有効化]をクリックします。

Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム

Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム (CEP) は、Acronis のお客様が、Acronis 製品の機 能、設計、および開発に貢献できる新しい手段です。このプログラムにより、お客様は、ホスト コン ピュータや仮想マシンのハードウェア構成、使用頻度が最も多い(および少ない)機能、発生する問題 の性質に関する情報など、さまざまな情報を提供できます。この情報を利用することで、Acronis 製品 およびお客様が最もよく使用する機能を改善できます。

Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラムに参加する、または参加をやめるには、次のようにしま す。

- 1. [Acronis Cyber Protect Home Office] メニューで、[基本設定] をクリックします。
- プログラムへの参加をやめるには、[Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラムに参加する]の チェックボックスをオフにします。

このプログラムへの参加を選択した場合、技術的な情報が毎週、自動的に収集されます。氏名、住所、 電話番号、キーボード入力などの個人データは収集されません。CEP への参加は任意です。ソフトウェ アの改善と機能拡張を提供し、お客様のニーズをさらに満たしていくことを最終的な目的としていま す。

Acronis へのご意見の送信

Acronis では、製品やサービスの機能、信頼性、速度のさらなる向上を重ね、継続的な改善を実施して います。フィードバックフォームから、解決すべき不便な点や問題点をお寄せいただくことができま す。いただいたご意見をもとに Acronis Cyber Protect Home Office を改善いたします。お手数ではござ いますが、製品へのご意見、新機能のご要望、問題のご報告などをぜひお知らせください。ご意見や問 題の内容については必ず確認し、分析いたします。

注意

すべてのフィードバックメッセージへの返信は致しかねます。Acronis Cyber Protect Home Office に関 して援助が必要な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

Acronis にご意見を送信するには、次の操作を実行します。

 [Acronis Cyber Protect Home Office] メニューにある [フィードバックの送信] をクリックします。 フィードバック フォームが開きます。

「 バックアップ	このMac			
∮ 保護	」 John パック	Acronis にご意見/ご質問を送信 Acronis Cyber Protect Home Officeに関するご意見をお寄せください。 また、問題がありましたらご報告ください。		
		*×		
				バックアップ先を選択
		 * screenshot.png 201 KB × ファイルの添付 		
		JohnSmith@example.com お名前		バックアップの暗号化
		システムレポートを添付する ? このフォームから送信されたメッセージに返信することはできませんが、ご意見や同題の内 容は必ず確認し、分析いたします。 キャンセル 送信	7、ファイ 吏用できま	ル、およびモバイル デバ す
	1			

- 2. リストからご意見の内容を選択します。
- 3. 本文を入力します。
- 4. 名前と電子メールアドレスを入力します。
- 5. (オプションの手順)デフォルトでは、Acronis Cyber Protect Home Office はコンソールウィンド ウのスクリーンショットを添付します。問題を調査したり意見を把握する際に不要と思われる場合 は、削除してもかまいません。
- (オプションの手順)ファイルや Acronis システムレポートを添付することもできます。 Acronis システムレポートには、さまざまな技術的な情報(ハードウェアの設定、macOSのバージョン、システム ログ、Acronis Cyber Protect Home Office のイベント ログ、バックアップの設定)が含まれています。

注意

Acronis システムレポートには、氏名、住所、電話番号、キーボード入力などの個人データは含まれていません。

Acronis Cyber Protect Home Office で応答が停止した場合など、重大なエラーが発生した場合は、 システムレポートを添付することをお勧めいたします。

7. **[送信**] をクリックします。

アプリケーションの基本設定

[基本設定] ウィンドウには、Acronis Cyber Protect Home Office の一般的な設定が含まれています。これを開く手順は、次のとおりです。

- 1. Acronis Cyber Protect Home Office を開きます。
- 2. [Acronis Cyber Protect Home Office] メニューで、[基本設定] をクリックします。

[全般] タブでは、次の設定を使用できます。

• Mac が Power Nap のときにバックアップする

Mac がスリープ状態のときにバックアップを実行できます。詳細については、「スケジュール設定」 を参照してください。

- ・ 起動時にアップデートを自動確認
 詳細については、「Acronis Cyber Protect Home Office のインストール、アップデート、アンインストール」を参照してください。
- [Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラムに参加する] 詳細については、「Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム」を参照してください。
- 通知センターに通知を表示する 詳細については、「通知」を参照してください。
- お客様への提案を表示
 製品および機能に関するお客様への提案を受け取るには、このチェックボックスを選択してください。

[バッテリセーバー] タブでは、次の設定を使用できます。

バッテリー電源での作業中はバックアップを行わない
 詳細については、「ラップトップ電源の設定」を参照してください。

[Wi-Fi ネットワーク] タブでは、次の設定を使用できます。

• 選択した Wi-Fi ネットワークのみ使用するバックアップ

選択されていないネットワークにデバイスが接続すると、すべてのクラウドバックアップが一時停止 されます。選択したネットワークに接続されると、一時停止されていたバックアップが再開されま す。詳細については、「Acronis Cloud へのバックアップのための Wi-Fi ネットワーク」を参照して ください。

キーボードショートカット

Acronis Cyber Protect Home Office では、キーボードショートカットを使用して、より素早く簡単に ユーザーインターフェースを使用できるようになっています。ショートカットを適用するには、2 つ以 上のキーを同時に押します。Acronis Cyber Protect Home Office のショートカットの一部は、アプリ ケーションメニュー内に指定されています。メニュー内では、一部のキー名が以下のアイコンで置き換 えられています。

キー名	アイコン
コマンド	æ
オプション	r
Shift	٢

Acronis Cyber Protect Home Office $o \neq - \vec{x} - \vec{y} \geq - \vec{y} \geq - \vec{y}$

ショートカット	説明
Command + U	製品の更新を確認
Shift + Command + E	プロダクトキーの入力
Command + ,	アプリケーション設定ウィンドウを開く
Shift + Command + L	マイアカウントにサインイン
Shift + Command + O	マイアカウントからサインアウト
Command + N	新規バックアップを作成
Command + 1	[バックアップ] セクションを開く
Command + 2	[保護] セクションを開く
Command + 3	[ディスクのクローン作成] セクションを開く
Command + 4	[アーカイブ] セクションを開く
Command + 5	[アカウント] セクションを開く
	[バックアップ] セクション
Command + S	バックアップ元のダイアログを開く
Command + D	バックアップ先のダイアログを開く
Command + Shift + S	バックアップの設定ダイアログを開く
	[ディスククローニング] セクション
Command + S	クローン作成元のダイアログを開く
Command + D	クローン作成先のダイアログを開く
	[アーカイブ] セクション
Command + O	アーカイブに追加するファイルの選択ダイアログを開く
Command + D	アーカイブ先のダイアログを開く
Command + I	アーカイブのチュートリアルウィンドウを開く
Command + Shift + S	アーカイブの設定ダイアログを開く

Touch Barとの統合

2016年モデルの15インチのMacBook Proと13インチのMacBook Pro(4つのThunderbolt 3ポート搭載)以降には、キーボードの上部に、Touch Barと呼ばれる特別な操作エリアがあります。Touch Barには、アクティブなウィンドウに基づいて最適と判断されるコントロールや、その時点で作業中のタスクが表示されます。このテクノロジにより、ユーザーインターフェイスの操作がシンプルになり、ボタンのクリック、Webサイトの切り替え、検索の実行、テキスト形式の変更、標準のMacシステムコントロール

の使用など、さまざまな操作を簡単に行うことができます。Touch Barについて詳しくは、AppleのWeb サイト: https://support.apple.com/ja-jp/HT207055をご覧ください。

Acronis Cyber Protect Home Office は Touch Bar に対応しています。Touch Bar を使用して、異なるア プリケーションのセクションの切り替え、バックアップの設定、データの復元など、さまざまな操作を 行えます。 たとえば、リストからバックアップを選択すると、Touch Barは次のようになります。

esc 📭 🦻 🟪 🖃 💽 🌣 パックアップ (💷 🕻 🕼 🔆 🐠 🛞

Escボタンと右のアイコンはMacのシステム コントロールです。左側には、Acronis Cyber Protect Home Office のセクションを移動するためのアイコンが表示されます。

アイコン	説明
F	バックアップ
G	ディスクのクローン作成
	アーカイブ
U	保護
0	アカウント

現在のウィンドウのコントロールは中央に置かれます。この例では、バックアップ元、宛先、設定(**企**) を変更でき、バックアップを開始できます。

次に示すTouch Barアイコンを使用して、新しいバックアップやアーカイブを作成することもできます。

アイコン	説明
+	新規バックアップを作成
\square^*	新規アーカイブの作成または既存アーカイブへのファイルの追加

サポートセンターのホームページ

Acronis 製品に関してご質問がある場合は、https://www.acronis.co.jp/support/をご覧ください。

アカウント(https://account.acronis.com/) にログインして製品を登録すると、登録されたすべての Acronis ソフトウェア製品の最新のアップデートをいつでも弊社の Web サイトからダウンロードできま す。詳細については、「Registering Acronis Products at the Website (Web サイトでアクロニス製 品を登録する)」(https://kb.acronis.com/content/4834)および「Acronis Website User Guide

(Acronis Web サイト ユーザーガイド)」(https://kb.acronis.com/content/8128)を参照してください。

バックアップ

基本的な概念

バックアップとリカバリ

バックアップとは、元のデータが失われてもそのコピーから**リカバリ**できるように、データのコピーを 作成しておくことです。

バックアップの主な目的は2つあります。

- 1つは、オペレーティングシステムが損傷した場合や起動しない場合に、OSをリカバリするという 目的です。この処理を災害復旧といいます。災害からの Mac の保護の詳細については、「ローカル ストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ」を参照してください。, Acronis Cloud へのバックアップ.
- もう1つは、ファイルやフォルダが誤って削除されたり損傷した後に、特定のファイルやフォルダを リカバリするという目的です。

リカバリの方法:

- 完全リカバリ:元のロケーションまたは新しいロケーションにリカバリできます。
 元のロケーションを選択すると、バックアップのデータで完全に上書きされます。新しいロケーションの場合、データはバックアップから新しいロケーションに単にコピーされます。
- 増分リカバリ:元のロケーションのみへ、クラウドバックアップのみからのリカバリを実行します。 リカバリ開始前に、元のロケーションのファイルとバックアップ内のファイルのファイル属性(ファ イルサイズ、最終更新日など)が比較されます。一致しなかったファイルはリカバリ用にマークが付 けられ、その他のファイルはリカバリ中スキップされます。このように完全リカバリとは異なり、 Acronis Cyber Protect Home Office は変更されたファイルだけをリカバリします。この方法ではリカ バリ時間が大きく削減され、Acronis Cloud からのリカバリ中のインターネットトラフィックが節約 されます。

バックアップ バージョン

バックアップバージョンは、バックアップの処理中に作成されます。各バージョンはそれぞれ特定の時 点を表しており、その時点の状態にシステムやデータを復元することができます。最初のバックアップ バージョンには、バックアップ対象として選択したすべてのデータが含まれます。2回目以降のバー ジョンでは、以前のバックアップバージョンから変更が加えられたデータのみが含まれるようになりま す。バックアップバージョンはすべて、1つのバックアップファイルに保存されます。

バックアップ ファイルの形式

Acronis Cyber Protect Home Office では、ローカルストレージまたはネットワークストレージに Mac をバックアップすると、バックアップデータが独自の.tib 形式または.tibx 形式に圧縮されて保存されま す。.tib または.tibx ファイルのバックアップのデータは、Acronis Cyber Protect Home Office を使用し た場合にのみ復元できます。 Mac を Acronis Cloud にバックアップする場合、Acronis Cyber Protect Home Office はデータを現状の まま保存します。インターネットに接続された任意の Mac コンピュータで、製品または Acronis Cloud Web アプリケーションを使用してデータをリカバリできます。

スケジュール作成

作成したバックアップを実際に役立てるには、可能な限り最新のバックアップを作成しておく必要があります。バックアップを定期的に実行するには、バックアップのスケジュールを作成します。

バックアップ保持ルール

手動またはスケジュールでバックアップ処理が実行されるたびに、Acronis Cyber Protect Home Office ではバックアップの保存先に新しいバックアップバージョンが作成されます。使用しなくなったバック アップバージョンを自動的に削除するため、バックアップ保持ルールを設定できます。詳細について は、「バックアップ、バックアップバージョン、レプリカをクリーンアップする」を参照してくださ い。

バックアップ可能な対象と不可能な対象

	バックアップの保存先							
	内蔵ドライ ブ(HDD、 SSD、 RAID)	Acronis Cloud	USB ドライ ブ	Thunderbolt	AirPort Time Capsule	ネット ワーク 共有、 NAS	CD、 DVD	FTP サー バー
内蔵ドライブ (HDD、 SSD)	+	+	+	+	+	+	-	-
USB ドライブ	+	+	+	+	+	+	-	-
FireWire ドラ イブ	+	+	+	+	+	+	-	-
Thunderbolt	+	+	+	+	+	+	-	-
Fusion Drive	+	+	+	+	+	+	-	-
FileVault2で 保護されてい るハードドラ イブ	+	+	+	+	+	+	-	-
Boot Camp が インストール されている ハード ドライ ブ	+	+	+	+	+	+	-	-

バックアップが可能な対象と不可能な対象は次の表のとおりです。

特定のファイ ル	+	+	+	+	+	+	-	-
SoftRAID	+	+	+	+	+	+	-	-
その他の RAID	-	-	-	-	-	-	-	-
個別のパー ティション	-	-	-	-	-	-	-	-
CD、 DVD	-	-	-	-	-	-	-	-
APMディスク	-	-	-	-	-	-	-	-

ローカル ストレージまたはネットワーク ストレージへの バックアップ

- 1. Acronis Cyber Protect Home Office を開きます。
- 2. 次のいずれかを実行します。
 - 最初のバックアップの場合は、この手順をスキップします。
 - バックアップを既に作成していて新しいバックアップを作成する場合は、バックアップリストの下にある[バックアップの追加]をクリックします。

注意

バックアップを削除するには、そのバックアップを右クリックして [**削除**] をクリックします。リ ストからそのバックアップが削除され、バックアップファイルとバックアップレプリカのファイ ルがバックアップストレージから完全に削除されます。これらのファイルは二度と復元できなく なります。

- 3. バックアップ対象のアイコンをクリックして、バックアップするデータを選択します。
 - Mac全体

このオプションを選択すると、Acronis Cyber Protect Home Office は、内蔵ハードドライブすべ てをディスクモードでバックアップします。バックアップ対象は、オペレーティングシステム、 インストールされているプログラム、システムの設定、写真、音楽、ドキュメントなどの個人 データすべてです。

- ディスク
- ファイルとフォルダ
- モバイルデバイス

詳細については、「モバイルデバイスのバックアップ」を参照してください。

• 認証するファイル

詳細については、「認証バックアップ」を参照してください。

• **NAS**(接続されている場合)

•••	バックアップ	MacBook	
「「」 バックアップ	▼ このMac =	<u>バックアップ</u> アクティビティ 復元	
・ 保護	MacBook NAS		
- ディスクのクローン作成	Documents Acronis Cloud	Y	
アーカイブ	Macintosh HD Acronis Cloud		
(見) アカウント	• Entire Mac Data Disk	MacBook 407.11 GBのデータを選択	NAS 465.63 GB のうち 73.18 GB が未 使用
	My folder Acronis Cloud		/Volumes/NAS/
	▶ その他 (3)	5	バックアップの暗号化
) ディスク、ファ イスも使用でき:	イル、およびモバイル デバ ます
	十 バックアップを追加	スケジュール:毎日1回14:28に行う (設定)	で手動で管理できます。 バックアップ

バックアップの保存先のアイコンをクリックし、バックアップファイルを保存する場所を選択して、
 [OK] をクリックします。保存場所が一覧に表示されない場合は、[参照] をクリックして場所を選択します。

NASデバイスがある場合は、自動的に検出され、その他の保存場所と一緒に表示されます。

- 5. (オプションの手順)設定を追加します。次の操作を実行できます。
 - バックアップスケジュールを設定するには、[設定]→[スケジュール]の順にクリックします。詳細については、「スケジュール設定」を参照してください。
 - バックアップ保持ルールを設定するには、[設定]→[クリーンアップ]の順にクリックします。詳細については、「バックアップ、バックアップバージョン、レプリカをクリーンアップする」を参照してください。
 - パスワードや暗号化を使用してバックアップを保護するには、[設定]→[暗号化]の順にクリックします。詳細については、「バックアップの暗号化」を参照してください。
 - 手動でファイルやフォルダを除外するには、[設定] → [除外] の順にクリックします。詳細については、「バックアップからの項目の除外」を参照してください。
 - [設定] → [エラー処理] でバックアップの試行を設定します。
- 6. すべての設定が完了してバックアップを開始する準備ができたら、[**バックアップ**]をクリックしま す。

Acronis Cyber Protect Home Office バックアップから Mac を復元するには、Acronis ブータブルメディ ア が必要になります。まだ用意していない場合は作成してください。詳細については、Acronis ブータ ブルメディア の作成を参照してください。

Acronis Cloud とは

Acronis Cloud は、バックアップとアーカイブを保存するために使用できる安全なリモートストレージ です。 ファイルはリモートストレージに保存されているため、災害やデータの破損が発生した場合、 Mac 全体の内容をリカバリできます。

Acronis Cyber Protect Home Office for Windows をご使用の場合は、ファイルバックアップ、ディスク イメージ、同期済みのファイルのバージョンを Acronis Cloud に保存することもできます。

Acronis Cloud の使用を開始するには、次のようにします。

- 1. Acronis Cyber Protect Home Office を開きます。
- 2. アカウントがない場合は、Acronis アカウントを作成します。
- 3. [オプション] Acronis Cloud がサブスクリプションの一部でない場合、次のようにしてそれをアーカ イブします。左サイドバーで、[アカウント] をクリックします。次に、[Acronis Cloud の有効化] をクリックします。[Acronis Cloud Storage] で、[試用する] または [購入] をクリックします。

Acronis Cloud Web サイトでは、Acronis Cloud に保存したデータを復元および管理できます。 Web サ イトにアクセスするには、https://www.acronis.com/my/online-backup/webrestore/ に移動し、アカ ウントにログインします。.

Acronis アカウントの作成

Acronis Cloud サービスを利用するには、Acronis アカウントが必要です。

Acronis アカウントを作成するには、次のようにします。

- 1. Acronis Cyber Protect Home Office を開きます。
- 2. バックアップ先として Acronis Cloud を選択します。ログインウィンドウが開きます。
- 3. **[アカウントの作成]** をクリックします。
- 登録フォームに入力します。必要なデータを提供し、利用規約に同意し、さらにオプションで、 ニュースとプロモーション情報を時々受け取るようにサブスクライブします。

注意

個人データを安全に維持するために、アカウント用の強力なパスワードを選択して、悪意のある第 三者に知られないように保護し、時々変更してください。

- 5. [アカウントの作成] をクリックします。
- 6. 登録した電子メールアドレスにメッセージが送信されます。このメッセージを開き、アカウントの作 成を確認して登録を完了します。

Acronis Cloud のサブスクリプション

Acronis Cloud を使用する Acronis Cyber Protect Home Office 機能(オンラインバックアップ、クラウ ドアーカイブ、データ同期など)を使用する場合は、Acronis Cloud Storage へのサブスクリプションが 必要です。サブスクライブするには、Acronis Cyber Protect Home Office を開き、左サイドバーの [ア カウント] をクリックしてから、必要なサブスクリプションを選択します。

注意

Acronis Cloud は、公正使用ポリシーの対象になることに留意してください。詳細については、 https://kb.acronis.com/ati/fairusage を参照してください。

試用版

試用版を有効化すると、Acronis Cyber Protect Home Office 試用期間にわたる 1,000 GB のストレージ と Acronis Cloud 無料サブスクリプションがマイアカウントに自動的に割り当てられます。トライアル サブスクリプションの期限が切れた後 30 日間、Acronis Cloud はリカバリ専用モードで動作します。こ の期間が過ぎると Acronis Cloud サービスは利用できなくなり、Cloud のデータはすべて削除されま す。

製品版の Acronis Cloud Storage サブスクリプションを購入するには、次のようにします。

- 1. Acronis Cyber Protect Home Office を開きます。
- 2. 左サイドバーで [アカウント] をクリックします。次に、[購入] をクリックします。
- 3. 必要なサブスクリプションを選択し、[購入]をクリックします。
- 4. 画面の指示に従って購入手続きを進めます。

Acronis Web サイトで製品版のサブスクリプションを購入することもできます。

Acronis Cloud へのバックアップ

- 1. Acronis Cyber Protect Home Office を開きます。
- 2. 次のいずれかを実行します。
 - 最初のバックアップの場合は、この手順をスキップします。
 - バックアップを既に作成していて新しいバックアップを作成する場合は、バックアップリストの下にある[+]アイコンをクリックします。

注意

バックアップを削除するには、そのバックアップを右クリックして [**削除**] をクリックします。 バックアップがリストから削除され、バックアップファイルがバックアップストレージから完全 に削除されます。これらのファイルは二度と復元できなくなります。

- 3. バックアップ対象のアイコンをクリックして、バックアップするデータを選択します。
 - Mac全体

このオプションを選択すると、Acronis Cyber Protect Home Office は、内蔵ハードドライブすべ てをディスクモードでバックアップします。バックアップ対象は、オペレーティングシステム、 インストールされているプログラム、システムの設定、写真、音楽、ドキュメントなどの個人 データすべてです。

- ディスク
- ファイルとフォルダ
- モバイルデバイス

詳細については、「モバイルデバイスのバックアップ」を参照してください。

• クラウドサービス Office 365 データをバックアップする場合に使用します。

認証するファイル 詳細については、「認証バックアップ」を参照してください。

• NAS デバイス(接続されている場合)

•••	バックアップ	MacBook	
「「」 バックアップ	▼ このMac 三	バックアップ アクティビティ 復元	
チー 保護	MacBook Acronis Cloud		
~ 一 ディスクのクローン作成	Documents Acronis Cloud	1	A
アーカイブ	Acronis Cloud		
(見) アカウント	Entire Mac Data Disk	MacBook 406.4 GBのデータを選択	Acronis Cloud 1 TB のうち 979.72 GB が未使用
	My folder Acronis Cloud		
	▶ その他 (3)		バックアップの暗号化
) ディスク、ファィ イスも使用できま	イル、およびモバイル デパ ミす
	十 バックアップを追加	↓ スケジュール:毎日1回13:43に行う (設定)	で手動で管理できます。 パックアップ

[バックアップ先] アイコンをクリックし、Acronis Cloud を選択して、[OK] をクリックします。
 まだサインインしていない場合は、Acronis アカウントの E メールアドレスとパスワードを入力し、
 [サインイン] をクリックします。

Acronis アカウントをお持ちでない場合は、[アカウントの作成] をクリックして E メールアドレスと パスワードを入力し、[アカウントの作成] ボタンをクリックします。詳細については、「Acronis ア カウントの作成」を参照してください。

- 5. (オプションの手順)設定を追加します。次の操作を実行できます。
 - サードパーティ製のサービスを利用している場合は、サービスで保護されているデータを除外で きます。[バックアップの最適化]をクリックして、除外するデータを指定します。詳細について は、「バックアップからの項目の除外」を参照してください。
 - 手動でファイルやフォルダを除外するには、[設定] → [除外] の順にクリックします。詳細については、「バックアップからの項目の除外」を参照してください。
 - バックアップスケジュールを設定するには、[設定]→[スケジュール]の順にクリックします。詳細については、「スケジュール設定」を参照してください。
 - バックアップ保持ルールを設定するには、[設定]→[クリーンアップ]の順にクリックします。詳細については、「バックアップ、バックアップバージョン、レプリカをクリーンアップする」を参照してください。
 - パスワードや暗号化を使用してバックアップを保護するには、[設定]→[暗号化]の順にクリックします。詳細については、「バックアップの暗号化」を参照してください。
 - 特定のデータセンターを選択し、アップロード速度を設定するには、[設定] → [ネットワーク]の 順にクリックします。詳細については、「バックアップのネットワーク設定」を参照してください。
 - [設定] → [エラー処理] でバックアップの試行を設定します。
- 6. すべての設定が完了してバックアップを開始する準備ができたら、[**バックアップ**]をクリックしま す。

注意

最初のオンラインバックアップは、完了するまでにかなりの時間を要することがあります。以降の バックアップ処理は、ファイルに対する変更のみが転送されるので、大幅に速くなります。

Acronis Cyber Protect Home Office バックアップから Mac を復元するには、Acronis ブータブルメディ ア が必要になります。まだ用意していない場合は作成してください。詳細については、Acronis ブータ ブルメディア の作成を参照してください。

Acronis Cloud にローカルバックアップをレプリケートする

レプリケートする理由

バックアップはデータを保護する手段となりますが、それに加えて、予期せずコンピュータが破損した 場合に備えてすべてのローカルバックアップを Acronis Cloud にレプリケートすることをお勧めしま す。もちろん2つのバックアップ計画を作って、1つをローカルコンピュータに、もう1つを Acronis Cloud にそれぞれバックアップすることもできます。しかしバックアップ計画をセットアップする際に 自動レプリケーションは時間の節約につながり、レプリカの作成作業はもう1つのバックアップの作成 よりも素早く完了します。レプリカとはバックアップのコピーであり、どこからでもアクセス可能な保 護手段となります。

レプリケーションの有効化

レプリケーションはデフォルトで無効です。 Acronis True Image(2020 または 2021)あるいは Acronis Cyber Protect Home Office で設定したローカルの場所を使って(外付けまたは内蔵ディスク に)ディスク、パーティション、またはコンピューター全体を保存する任意のバックアップに対して、 レプリケーションを有効にできます。 レプリケーションは、バックアップ計画の特殊なタブの中で有効 にすることができます。

バックアップから Acronis Cloud へのレプリケーションを有効にするには、次のようにします。

- 1. バックアップの一覧表示から、レプリケーションの対象となるバックアップを選択して [レプリカ] タブを開きます。
- [レプリケート]をクリックします。これでレプリケーションが有効になり、通常のバックアップの 作成時にレプリケーションが開始するようになります。Acronis Cyber Protect Home Office は閉じ てもかまいません。バックアップとレプリケーションの両方のプロセスがバックグラウンドモードで 継続されます。
- 3. (オプションの手順) [**バックアップ**] タブを開いて [設定]、[レプリケーション] の順にクリック し、のクリーンアップ設定を構成すると、領域の使用を最適化できます。

認証バックアップ

Acronis Cyber Protect Home Office は、ブロックチェーン技術を使用してファイルを不正な変更から保 護できます。これにより、正しいバックアップファイルからデータを復元できることが保証されます。 法律文書など信頼性の証明が求められるファイルは、このタイプのバックアップを使用して保護するこ とをお勧めします。詳細については、「ブロックチェーン技術の使用」を参照してください。

ファイルとフォルダの認証バックアップを作成する手順

- 1. Acronis Cyber Protect Home Office を開きます。
- 2. 次のいずれかを実行します。
 - 最初のバックアップの場合は、この手順をスキップします。
 - バックアップを既に作成していて新しいバックアップを作成する場合は、バックアップリストの下にある[バックアップの追加]をクリックします。

注意

バックアップを削除するには、そのバックアップを右クリックして [**削除**] をクリックします。 バックアップがリストから削除され、バックアップ ファイルがバックアップ ストレージから削除 されます。

3. [バックアップ対象] アイコンをクリックし、[認証するファイル] をクリックして、バックアップするファイルとフォルダを選択します。



バックアップの保存先のアイコンをクリックし、バックアップファイルを保存する場所を選択して、
 [OK] をクリックします。保存場所が一覧に表示されない場合は、[参照] をクリックして場所を選択します。

NASデバイスがある場合は、自動的に検出され、その他の保存場所と一緒に表示されます。

5. (オプションの手順)設定を追加します。次の操作を実行できます。

- ・ 手動でファイルやフォルダを除外するには、[設定] → [除外] の順にクリックします。詳細については、「バックアップからの項目の除外」を参照してください。
 デジタル署名のあるファイルをバックアップから除外するには、[デジタル署名されたファイルは認証しない] チェックボックスをオンにします。詳細については、「バックアップからの項目の除外」を参照してください。
- バックアップスケジュールを設定するには、[設定]→[スケジュール]の順にクリックします。詳細については、「スケジュール設定」を参照してください。
- パスワードや暗号化を使用してバックアップを保護するには、[設定]→[暗号化]の順にクリックします。詳細については、「バックアップの暗号化」を参照してください。
- 特定のデータセンターを選択し、アップロード速度を設定するには、[設定] → [ネットワーク]の 順にクリックします。詳細については、「バックアップのネットワーク設定」を参照してください。
- 6. すべての設定が完了してバックアップを開始する準備ができたら、[**バックアップ**]をクリックしま す。

ブロックチェーン技術の使用

Acronis Cyber Protect Home Office は、ブロックチェーン技術を使用してバックアップファイルをトッ プレベルのセキュリティで保護します。この技術により、ファイルが不正ソフトウェアによって変更さ れていないこと、および復元時に正しいバックアップファイルからデータを復元できることが保証され ます。

ブロックチェーンとは

ブロックチェーンは、トランザクションとそのシーケンスに関する情報を格納するデータベースです。 一般に、トランザクションは財務処理や各種資産の処理などに関するイベントを意味します。トランザ クションはブロックにまとめられ、ブロックがデータベースに1つずつ書き込まれ、ブロックチェーンを 形成します。すべてのトランザクションとすべてのブロックに一意の識別番号が割り振られています。 どのブロックにもチェーンの以前のブロックすべての情報が格納されていることが重要です。データ ベースに書き込まれたトランザクション情報は、誰もいかなる手段でも変更できません。同じくトラン ザクションシーケンスも変更できません。データベース内の情報を変更しようとしても、任意のデータ ベースユーザーによって簡単に見破られます。これは、正しくないトランザクションやブロックに関す る情報がそれ以降のどのブロックにも存在しないためです。このテクノロジにより、データベースに格 納されているデータが正当で、特定の人物に属しており、誰にも変更されていないことが保証されま す。ブロックチェーンの詳細については、https://en.wikipedia.org/wiki/Blockchain_(database)を参照 してください。

Acronis Cyber Protect Home Office でのブロックチェーン技術の使用方法

不正な変更からファイルを保護するため、Acronis Cyber Protect Home Office は Acronis 認証テクノロ ジを使用します。これは、任意のデータオブジェクトおよびデータストリームにタイムスタンプとフィ ンガープリントを付けるための汎用ソリューションです。大量のデータをブロックチェーンデータベー スに格納できないため、Acronis Cyber Protect Home Office はファイルのハッシュコードだけを Acronis 認証サービスに送ります。 ハッシュコードは、ハッシュ関数によって生成される固定サイズの一意の番号です。このコードは、 バックアップファイルなどの任意のデータセットを数学的に定義します。バックアップファイルを変更 すると、そのハッシュコードも変更されます。したがって、ファイルが変更されているかどうかを確認 する場合、最初に生成されたハッシュコードとファイルの現在の状態を比較するだけで済みます。コー ドが一致した場合、ファイルが誰にも変更されていないことが保証されます。

Acronis 認証は、ファイルのハッシュコードを受け取ると、新しい1つのハッシュコードを計算し、ブロックチェーンベースの Ethereum データベースにそのハッシュコードを送ります。イーサリアムの詳細については、https://www.ethereum.org/を参照してください。

ハッシュコードがデータベースに送られると、そのハッシュコードを計算するために使用したファイル が、Acronis 認証によって認証されます。「ファイルの真正性の検証」で説明されている手順に従う と、ファイルの真正性をいつでも簡単に検証できます。すべての認証されたファイルには、認証証明書 があります。認証証明書は、ファイルがブロックチェーン技術によって保護されていることの文書によ る証明です。証明書には、ファイルに関する一般的な情報と、ファイルの真正性を手動で検証するため に利用できる技術的な詳細が含まれています。詳細については、「ファイルの真正性の手動検証」を参 照してください。

ファイルの真正性の検証

Acronis Cyber Protect Home Office は、ブロックチェーン技術を使用してバックアップファイルを不正 な変更から保護できます。これにより、正しいバックアップファイルからデータを復元できることが保 証されます。

Acronis Cyber Protect Home Office でファイルの真正性を検証するには、次のようにします。

- 1. Acronis Cyber Protect Home Office を開きます。
- 2. サイドバーで [**バックアップ**] をクリックします。
- 3. バックアップリストから、復元するファイルを含む認証バックアップを選択します。
- 4. 右側のペインで、[復元] タブをクリックします。
- 5. 必要なファイルを参照し、矢印アイコンをクリックし、次のいずれかをクリックします。
 - [認証の確認]: ファイルセキュリティに関する詳細情報を含む証明書が Web ブラウザで表示され ます。
 - [検証]: Acronis Cyber Protect Home Office はファイルの真正性を検証します。

ファイル検証ツールでファイルの真正性を検証する手順

- 1. 次のいずれかの方法で、ファイル検証ツールを起動します。
 - Web ブラウザで、https://notary.acronis.com/verify を開きます。
 - Acronis Cyber Protect Home Office のサイドバーの [バックアップ] をクリックし、認証バック アップを選択し、右側のパネルで [ファイル検証ツールを起動] をクリックします。
- 2. Finder で検証するファイルを参照し、そのファイルを Web ブラウザウィンドウにドラッグします。

Acronis Cloud でファイルの真正性を検証するには、次のようにします。

1. https://www.acronis.com/my/online-backup/webrestore/ に移動し、Acronis アカウントにログイ ンします。

- 2. サイドバーで [バックアップ] をクリックします。
- 3. バックアップリストから、復元するファイルを含む認証バックアップを選択します。
- 必要なファイルを参照し、それをチェックマークで選択します。次に、右サイドバーの [検証] をク リックします。

ファイルの真正性の手動検証

ファイルの真正性を検証する最も簡単な方法は、Acronis Cyber Protect Home Office または Acronis Cloud Web アプリケーションの [検証] コマンドを使用することです。詳細については、「ファイルの 真正性の検証」を参照してください。この簡単な方法に加え、ユーザーが自分で検証手順を段階的に実 行することもできます。

ファイルの真正性を手動で検証するには、次のようにします。

手順1. ファイルのMD5ハッシュを計算する

- 1. ターミナルを開きます。
- 2. たとえば、picture.pngファイルのmd5ハッシュを計算するには、次のように入力します。

\$ md5 'picture.png'

md5ハッシュの例: eea16ade1edf2750a46bb6bffb2e45a2

3. 計算したmd5ハッシュが認証証明書のデータフィールドのeTagに一致することを確認します。ファ イル証明書の取得の詳細については、「ファイルの真正性の検証」を参照してください。

手順2. ROOTがブロックチェーンに保存されていることを確認する

- 1. ブロックチェーンエクスプローラ (たとえばhttps://etherscan.io/)を開きます。
- 2. 証明書のTRANSACTION IDを検索フィールドに入力します。
- 3. [イベントログ] タブの [データ] フィールドが証明書の ROOT 値と同等であることを確認します。

手順 3. ハッシュがツリーに含まれていることを確認する

- コマンドラインユーティリティをGitHubリポジトリhttps://github.com/acronis/notaryverifyhash/releasesからダウンロードします。
- 2. https://github.com/acronis/notary-verifyhashの指示に従います。

モバイルデバイスのバックアップ

iOS または Android のスマートフォンがあれば、Acronis Cyber Protect Home Office を使用して、写 真、ビデオファイル、連絡先、カレンダーなどのモバイルデータを保護できます。 詳細については、 Acronis Mobile 関連の文書を参照してください。

コンピュータ上のローカルストレージにモバイルデータをバックアップするには、次のようにします。

- 1. 次を確認してください。
 - Acronis True Image (2017 以降)、または Acronis Cyber Protect Home Office がコンピュー ターにインストールされている。

- モバイルデバイスに Acronis Mobile アプリがインストールされている。
- モバイルデバイスとコンピュータが同一のWi-Fiネットワークに接続している。
- 2. コンピュータで次の手順を実行します。
 - a. Acronis True Image (2017 以降) または Acronis Cyber Protect Home Office を起動します。
 - b. サイドバーの [**バックアップ**] をクリックして、[**バックアップの追加**] をクリックします。
 - c. [バックアップ対象] 領域をクリックし、[モバイルデバイス] を選択します。

QR コードが表示されます。このウィンドウは閉じないでください。

- 3. モバイルデバイスで次の手順を実行します。
 - a. Acronis Mobile を開始します。
 - b. プラスアイコンをタップして、バックアップを作成します。モバイルデバイスを初めてバック アップする場合は、このステップが発生しないことに注意してください。
 - c. バックアップ先としてコンピュータを選択します。
 - d. **[QRコードのスキャン]**をタップし、コンピュータ画面上のQRコードにカメラを向けて、モバイ ルデバイスがコンピュータに接続されるまで待ちます。
 - e. バックアップするデータカテゴリを選択するか、すべてをバックアップする場合は[確認]をタッ プします。
 - f. Acronis Mobile に個人データへのアクセスを許可します。
 - g. (オプションの手順)バックアップを暗号化して保護するためのパスワードを入力します。暗号 化しない場合は、[Skip Encryption(暗号化をスキップ)] をタップします。
 - h. [バックアップを開始] をタップします。

バックアップ開始後は、コンピュータやモバイルデバイスのどのアプリケーションでも進行状況を確認 できますが、エラーおよび警告メッセージが表示されるのはモバイルアプリのみです。

コンピューターの Acronis True Image または Acronis Cyber Protect Home Office と、Acronis Mobile アプリは閉じてかまいません。バックアップはバックグラウンドモードで継続されます。

バックアップが完了すると、コンピュータにデータがアップロードされます。データの変更(たとえ ば、新しい写真など)を自動的にバックアップする場合は、[自動バックアップ] 設定がオンになってい ることを確認します。この設定がオフの場合、新しいデータは [バックアップ] をタップするまでバック アップされません。

コンピュータとモバイルデバイス間の接続が、エラーのために失われた可能性があります。接続を復元 するには、Acronis Cyber Protect Home Office のバックアップリストでモバイルバックアップを選択し てから、[再接続] をクリックし、モバイルデバイスで QR コードをスキャンします。その後は、同じ設 定でバックアップが通常通りに続行されます。

Acronis Mobile

注意

お住まいの地域では、Acronis Cloud をご利用いただけません。詳細は、 https://kb.acronis.com/content/4541 を参照してください。 Acronis Mobile を使用すれば、データを Acronis Cloud か、コンピューター上のローカルストレージに バックアップして、データが損失または破損した場合に復元できます。クラウドストレージへのバック アップには Acronis Cloud のサブスクリプションが必要になります。

モバイルアプリケーションはどのようなデバイスをサポートしますか?

Acronis Mobile は、以下のいずれかのオペレーティングシステムを実行するモバイルデバイスにインス トールできます。

- iOS 12.0以降(iPhone、iPad、iPod)
- Android 7.0 以降 (スマートフォンのみ)

主な特徴

Acronis Mobile では以下が実行できます。

- 個人データのバックアップ。このデータには、次のものが含まれます。
 - 。 写真
 - 。 ビデオ
 - 。 連絡先
 - 。 カレンダー
 - メッセージ (Androidのみ)
 - リマインダー (iOS のみ)
- バックアップ保存先として次の場所を選択します。
 - Acronis Cloud
 - 。 PC または Mac 上のローカルストレージ
- AES-256暗号化方式を使用したバックアップの暗号化
- 新しいデータおよび変更済みデータの自動バックアップ
- すべてのモバイルデバイスからのクラウドバックアップへのアクセス、およびクラウドバックアップ からのデータの復元

これらのアプリはどこにありますか?

Apple App Store または Google Play で、Acronis Mobile の詳細情報を確認してダウンロードすること ができます。

- iOS デバイス向け Acronis Mobile: https://go.acronis.com/atimobile/download/iOS
- Android デバイス向け Acronis Mobile: https://go.acronis.com/atimobile/download/Android

モバイルバックアップのローカルのバックアップ先

モバイルデータをコンピュータにバックアップする場合、Acronis Cyber Protect Home Office によって バックアップがデフォルトのフォルダ(/Library/Application Support/Acronis Mobile Backup Data/acronis-local-data/)に保存されます。デフォルトフォルダを変更する場合、acronis-local-data フォルダは選択した場所に移動されます。すべての新しいモバイルデータは新しい場所にバックアップ されます。

注意

すべてのモバイルバックアップは常に同一フォルダに保存され、分割保存されることはありません。

モバイルバックアップのローカルの保存先を変更するには、次のようにします。

- 1. [バックアップ] セクションで、モバイルバックアップを右クリックし、[移動] をクリックします。
- 2. 次に[場所の選択] をクリックしてバックアップの新しい保存先を選択します。注意: 選択できるのは 内蔵ハードドライブの場所のみです。

新しい場所を最初の場所に変更するには、[デフォルトにリセット]をクリックします。

Office 365 データのバックアップ

Office 365 データをバックアップする理由

Microsoft Office 365 for Home はクラウドサービスのセットですが、それでも定期的なバックアップを すればユーザーエラーや意図的な悪意のある操作から保護する追加のレイヤが得られます。Acronis Cyber Protect Home Office を使用すれば、安全な Acronis Cloud にバックアップすることにより、 Microsoft Outlook メールボックスと Microsoft OneDrive データを保護することができます。Acronis Cloud にアップロードした後、すべてのコンテンツをいつでもどのデバイスからでも使用できるように なります。Office 365 の保持期間が過ぎた後でも、削除したアイテムをバックアップからリカバリする ことができます。

Office 365 データのバックアップ

Outlook メールボックスでバックアップ可能なデータ:

- すべてのフォルダ
- 電子メールメッセージ
- 添付ファイル

注意

共有メールボックスやグループメールボックスはバックアップできません。

OneDrive でバックアップ可能なデータ:

• すべてのファイルとフォルダ

Office 365 データをバックアップするには:

- 1. 次のいずれかを実行してオンラインダッシュボードを開きます。
 - https://cloud.acronis.comのリンクをクリックします。
 - Acronis Cyber Protect Home Office のサイドバーで、[バックアップ]、[バックアップの追加]、 [バックアップ対象] 領域の順にクリックしてから、[Cloud サービス] を選択します。
- 2. Acronis アカウントにサインインします。

- サイドバーで、[リソース]、[追加] の順にクリックしてから、[Microsoft Office 365 for Home] を 選択します。
- 4. メッセージが表示されたら、Microsoft アカウントにログインします。
- 5. [バックアップ対象] 領域で、バックアップするアイテムを選択します。
 - アカウント全体
 - Outlook
 - OneDrive
- 6. [完了] をクリックします。
- [クリーンアップ]ペインを介して、バックアップ用のクリーンアップルールを設定できます。バックアップを暗号化してパスワードで保護することもできます。終了したら、[適用]をクリックします。
- 8. バックアップを開始するには、[今すぐ実行]をクリックします。

スケジュール設定

作成したバックアップを実際に役立てるには、可能な限り最新のバックアップを作成しておく必要があ ります。バックアップを定期的に実行するには、バックアップのスケジュールを作成します。デフォル トでは、Mac は毎日バックアップされます。

and the second se	
スケジュール	バックアップを最新の状態にするには、定期的なバックアップスケジュールを 設定します。
🍙 クリーンアップ	○ スケジュールを設定しない
🙆 暗号化	●日単位
	○毎 時間 ◇
陈 外	● 1日に1回 14:50 🗘
() ネットワーク	○1日に2回 14:50 ℃ 0:00 ℃
	週単位
エラーの処理	月単位
	○ 外部デバイスが接続された時
	このオプションは、外部宛先へのバックアップにしか使用できません。
	○ ノンストップ
	このオプションを使用できるのは、Acronis Cloud へのファイルレベルの バックアップに対してのみです。
?	キャンセル OK

バックアップのスケジュールを作成する手順は、次のとおりです。

- 1. [設定] で、バックアップ間隔を選択し、開始時刻を指定します。
 - スケジュールを設定しない このオプションを設定すると、スケジュール設定は無効になります。
 - 日単位 1日に1度または2度、指定の時刻または選択した時間間隔でバックアップが開始されます。
 - **週単位** 選択した曜日の指定時刻で毎週、バックアップが実行されます。
 - 月単位 選択した日付の指定時刻で毎月、バックアップが実行されます。
 - 外付けデバイスが接続されている場合(外部保存先へのバックアップにのみ使用可能)
 USB フラッシュドライブまたは外付け HDD へのバックアップを実行するタスクをスケジュール すると、同じ外付けデバイスが接続されるたびにバックアップが開始されます。そのデバイスで バックアップを1日に1回だけ実行するには、[1日に一度]チェックボックスをオンにします。
 - ノンストップ(ファイルレベルのクラウドバックアップに対してのみ使用可能) 最初の完全バックアップには、保護対象として選択したすべてのデータが含まれます。その後、 Acronis Cyber Protect Home Office が保護対象のファイル(開いているファイルを含む)を継続 的に監視します。変更が検出されると、変更されたデータがバックアップされます。増分バック アップ処理の最短間隔は5分です。この機能によって、指定した時間の状態にデータを復元するこ とが可能になります。
- 2. すべての設定が完了したら、[OK]をクリックします。

スケジュールが設定された時刻に Mac の電源が切れている、または Mac がスリープ モードになってい る場合は、次に Mac を起動、またはスリープを解除したときにバックアップが実行されます。Mac Power Nap を使用すると、データ バックアップのギャップを防ぐことができます。

Mac Power Nap を使用する手順は、次のとおりです。

- Mac の [省エネルギー] > [電源アダプタ] パラメータで Power Nap をオンにします。
- [Acronis Cyber Protect Home Office] メニューの [基本設定] をクリックし、[全般] をクリックして、[Mac が Power Nap のときにバックアップする] チェックボックスをオンにします。[OK] をクリックします。

この設定をオンにした場合、スケジュールされた時間になったときに Mac がスリープモードであれば、 次回の Power Nap でバックアップが実行されます。なお、Power Nap 時のバックアップは、コン ピュータが電源に接続されている場合にのみ機能することに留意してください。

バックアップの暗号化

バックアップされたデータを不正アクセスから保護するために、バックアップを業界標準のAES (Advanced Encryption Standard) 暗号化アルゴリズムで256ビットの長さのキーを使用して暗号化で きます。

注意

既存のバックアップに関するバックアップ暗号化オプションを変更することはできません。

バックアップを暗号化する手順は、次のとおりです。

- 1. 最初にバックアップ処理を設定する際に、[設定] アイコンをクリックして、[暗号化] をクリックし ます。
- バックアップ用のパスワードを対応するフィールドに入力し、[OK] をクリックします。 パスワードはできる限り想像しにくいものにするため、8文字以上の、アルファベット(大文字と小 文字の両方を使用することが望ましい)と数字を含むものにしてください。 パスワードを取得することはできません。バックアップの保護に指定したパスワードは控えておいて ください。

バックアップ、バックアップバージョン、レプリカをク リーンアップする

手動またはスケジュールでバックアップ処理が実行されるたびに、Acronis Cyber Protect Home Office ではバックアップの保存先に新しいバックアップバージョンが作成されます。

不要になったバックアップバージョンを削除する場合は、アプリケーションに用意されているツールを 使用してください。たとえば、エクスプローラーを使用して Acronis Cyber Protect Home Office の外部 でバックアップバージョンファイルを削除すると、バックアップに対する操作でエラーが発生します。

次のバックアップのバージョンは手動では削除できません。

- CD、DVD、BD、または Acronis Secure Zone に保存されたバックアップ
- ノンストップバックアップ
- 認証バックアップ

ノンストップバックアップの保持ルール

Acronis Cloud にファイルやフォルダをバックアップする場合には、ノンストップスケジュールの設定 ができます。詳細については、「スケジュール設定」を参照してください。

Acronis Cyber Protect Home Office はバックアップ対象データを常に監視し、変更内容を Acronis Cloud にアップロードするので、バックアップによってストレージスペースがすぐに消費される場合が あります。バックアップバージョンの数を減らし、クラウド領域の消費を最適化するために、Acronis Cyber Protect Home Office では以下のバックアップバージョンだけが保持されます。

- 過去1時間のすべてのバージョン
- 過去 24時間の 1時間ごとの最初のバージョン
- 前の週の各日の最初のバージョン
- 前の月の週ごとの最初のバージョン
- 各月の最初のバージョン

他のすべてのバージョンは自動的に削除されます。保持ルールはあらかじめ設定されており、変更する ことはできません。

レプリカ保持ルール

レプリケーションが有効になったバックアップ操作を実行するたびに、Acronis Cyber Protect Home Office は新しいバックアップバージョンをローカルに作成し、新しいレプリカバージョンをクラウドに 作成します。インターネットの使用を最適化する目的で、バックアップバージョンの数に比べてレプリ カバージョンの数がわずかに少なくなることがあります。それでもなお、レプリカによって多くの領域 が消費される可能性があります。領域を節約するには、レプリカ保持ルールを次のように使用します。

- 1. [**バックアップ**] セクションで、必要なバックアップをクリックし、右下隅の [設定] をクリックしま す。
- 2. [設定] をクリックして [レプリケーション] を選択します。

レプリカバージョン数の制限を設定できます。レプリカの数に加えて、保存期間も制限できます。[次の 期間を超えたバージョンを削除する] チェックボックスをオンにし、バージョンの保存期間を指定しま す。指定した期間を超過したバージョンは、すべて自動的に削除されます。

バックアップ全体とそのレプリカを削除するには、次のようにします。

[バックアップ] セクションで、削除するレプリカを含むバックアップを右クリックし、[バックアップお よびレプリカの削除] をクリックします。

バックアップの種類に応じて、バックアップをそのロケーションから完全に削除したり、バックアップ を完全に削除するかバックアップボックスのみを削除するかを選択したりすることができます。バック アップボックスのみを削除する場合、バックアップファイルはそのロケーションに残り、後でバック アップをリストに追加することができます。バックアップを完全に削除した場合、削除を元に戻すこと はできません。

バックアップを削除すると、そのレプリカも自動的に削除されます。ローカルバックアップを削除して そのレプリカを引き続き保持することはできません。ただし、レプリカだけを削除し、それに対応する ローカルバックアップを保持することは可能です。

バックアップを削除せずにレプリカを削除するには、[バックアップ] セクションで、削除するレプリカ を含むバックアップを右クリックしてから、[レプリカのみの削除] をクリックします。

クリーンアップ設定を構成するには、次のようにします。

- 1. [**バックアップ**] セクションで、必要なバックアップをクリックし、右下隅の [設定] をクリックしま す。
- 2. [クリーンアップ] タブを選択し、クリーンアップ設定を構成します。

デフォルトでは、Acronis Cyber Protect Home Office は最新の 20 個のバージョンを保存します。21 個 目のバージョンを作成するときに、Acronis Cyber Protect Home Office によってバックアップの最も古 いバージョンが自動的に削除されます。バックアップバージョンの数に異なる制限を設定できます。
Acronis Cloud でのスペースのクリーンアップ

- サイドバーの [アカウント] をクリックし、[データの参照] をクリックします。Acronis Cloud の Web アプリケーションが開きます。
- 2. Web アプリケーションの左サイドバーで [アカウント] をクリックします。
- 3. Acronis Cloud 行で、[クリーンアップ] をクリックします。
- 4. 削除対象となるバージョンを選択:
 - 一定期間が経過したバージョン。
 - 最近のいくつかのバージョンを除くすべての古いバージョン。

警告

ご注意ください。削除したバージョンは、復元することができません。

不要になったクラウドバックアップを削除してクリーンアップする方法もあります。この場合、バック アップのすべてのバージョン履歴が Acronis Cloud から削除されます。

既存のバックアップをリストに追加する

Acronis Cyber Protect Home Office バックアップを過去の製品バージョンで作成したり、他のコン ピュータからコピーしたりした場合、Acronis Cyber Protect Home Office を起動するたびに、コン ピュータでこのようなバックアップがスキャンされ、自動的にバックアップの一覧に追加されます。

リストに表示されないバックアップについては、手動で追加することができます。

バックアップを手動で追加するには、次のようにします。

1. [ファイル] メニューで [既存のバックアップを追加] をポイントします。ウィンドウが開き、コン ピュータ上に存在するバックアップを参照できます。

また、Spotlightを使用して.tib または tibx ファイルから検索することもできます。

 バックアップバージョン (.tib または.tibx ファイル)を選択します。バックアップ全体がリストに 追加されます。

一覧のすべてのバックアップからデータを復元できます。また、同じ Mac で作成されたバックアップを 再構成できます。

バックアップを再構成する手順は、次のとおりです。

- 1. バックアップソースのアイコンをクリックして、バックアップするデータを選択します。
- (オプションの手順)バックアップを定期的に実行するには、バックアップのスケジュールを設定します。
- 3. バックアップを開始するには、[バックアップ]をクリックします。

注意

一覧でローカルバックアップを非表示にするには、非表示にするローカルバックアップを右クリック し、[Hide from the list] をクリックします。非表示にしたバックアップは、再び手動で追加するまで は操作できません。

バックアップからの項目の除外

バックアップを開始する前に、バックアップする必要のないデータを除外することでバックアップサイ ズを縮小できます。

ファイルやフォルダを次の方法で除外することができます。

手動(すべてのバックアップから)

項目を除外するには、該当のファイルを明確に指定するか、マスクを使用します。

 自動(バックアップから Acronis Cloud へ)
 Acronis Cyber Protect Home Office によってバックアップソースが分析され、サードパーティ製のク ラウドストレージからダウンロード可能なローカルデータを除外するように推奨されます。

手動で項目を除外する

1. バックアップの設定時に、[設定]をクリックして、[除外]をクリックします。



- 2. プラス記号をクリックして、次のいずれかをクリックします。
 - 特定のファイルまたはフォルダを除外する
 - 除外する項目を参照して選択し、[除外]をクリックします。
 - マスクごとに除外する

ワイルドカード文字(* および?)を使用して除外マスクを入力し、[除外]をクリックします。 除外マスクの例:

- *.ext: .ext の拡張子を持つすべてのファイルが除外されます。
- ??name.ext: 拡張子が .ext のファイルで、合計 6 文字(最初の 2 文字が任意の文字(??)で、 残りの部分が name)のファイル名を持つすべてのファイルが除外されます。
- [デジタル署名されたファイルは認証しない] チェックボックスをオンまたはオフにします(認証 バックアップの場合にのみ使用できます)。
 認証バックアップの主な目的は、個人ファイルを保護することです。そのため、デジタル認証された

システムファイル、アプリケーションファイル、その他のファイルをバックアップする必要はありま せん。これらのファイルを除外するには、対応するチェックボックスをオンにします。

4. **[OK]** をクリックします。

リカバリ可能なデータをオンライン バックアップから除外

Acronis Cyber Protect Home Office では、Google Drive や Dropbox などのサードパーティ製クラウド サービスにアップロード済みまたは同期済みのローカルデータを除外できるようになりました。 この データは既に確実に保護されており、コンピュータへのダウンロードも簡単に実行できます。そのた め、Acronis Cloud へのアップロードは不要になりました。これらのデータを除外してバックアップ サ イズを縮小し、バックアップ処理の速度を向上させることができます。

次のサービスで保護されているデータを除外できます。

- iTunes
- Dropbox
- Microsoft OneDrive
- Google Drive
- BoxSync
- Yandex.Disk
- SugarSync

次の条件を満たしている場合にのみ、Acronis Cyber Protect Home Office によってデータの除外が推奨 されます。

- サードパーティ製のサービスが現在有効化されている。
- 対応するフォルダに 250 MB を超えるデータが保存されている。

オンラインバックアップから項目を除外するには、次の操作を実行します。

- バックアップ処理を開始する前に、バックアップソースのアイコンの下にある[バックアップの最適化]をクリックします。
- 2. 除外する項目の横にあるチェックボックスをオンにして、[完了]をクリックします。

接続設定

ネットワーク上のコンピュータまたはNASデバイスに接続する場合、通常、ネットワークロケーション にアクセスするために必要なログイン情報を入力する必要があります。たとえば、バックアップの保存 先を選択する際にこの操作が必要になることがあります。その場所に対する資格情報が変更された場合 は、バックアップの設定で手動で資格情報を修正する必要があります。修正しなければ、以降のバック アップ操作はすべて失敗します。

ネットワークロケーションに対する資格情報を変更するには、次のようにします。

- 1. Acronis Cyber Protect Home Office を開きます。
- 2. [**バックアップ**] セクションで、バックアップ元またはバックアップ先としてネットワークロケー ションが設定されているバックアップを選択します。
- 3. 歯車アイコンをクリックして、バックアップの設定を表示します。
- 4. [接続] セクションで、そのネットワークロケーションにアクセスするためのユーザー名とパスワー ドを指定します。
- (オプションの手順) [接続のテスト] をクリックします。
 接続が確立されると、資格情報が修正されます。
- 6. 変更を適用するには、[OK] をクリックします。

バックアップのネットワーク設定

Acronis Cloud にバックアップを作成すると、各国の Acronis データセンターの 1 つにデータがアップ ロードされます。はじめに、データセンターは、Acronis アカウントの作成時の場所に最も近い場所が 指定されます。それ以降は、デフォルトの場合、オンライン バックアップや同期済みファイルは同じ データ センターに保存されます。

他の国に居住している場合、またはデフォルトのデータ センターが現在地から最も近い場所ではない場合、バックアップ用のデータ センターを手動で設定することをお勧めします。データ アップロード速度 を大幅に高めることができます。

注意

既存のバックアップに対しては、データセンターを変更できません。

データセンターを選択するには、次の手順を実行します。

1. オンラインバックアップの設定時に、[設定]をクリックして、[ネットワーク]をクリックします。



2. 現在地から最も近い国を選択し、[OK]をクリックします。

データのアップロード速度

Acronis Cloud にデータをバックアップする場合、Acronis Cyber Protect Home Office の接続速度を変 更できます。速度の低下を気にすることなくインターネットやネットワークリソースを使用できる接続 速度を設定します。

- 1. バックアップの設定で、[ネットワーク] セクションに移動します。
- 2. 接続速度を設定する場合は、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [最大] データ転送速度は、システム構成の最大値になります。
 - [カスタム] データのアップロード速度の最大値を指定できます。

バックアップアクティビティと統計

バックアップ履歴やバックアップに含まれているファイルの種類などのバックアップに関する追加情報 を、[**アクティビティ**] タブと [バックアップ] タブに表示することができます。[**アクティビティ**] タブに は、選択したバックアップに対して実行された(作成以降の)操作リスト、操作状況、統計が含まれて います。これは、バックグラウンドモードでバックアップに何が生じていたかを突き止める必要がある ときに便利です。たとえば、スケジュールされたバックアップ操作の数や状況、バックアップデータの サイズなどです。 バックアップの最初のバージョンを作成するときに、[バックアップ] タブに、バックアップの内容が ファイルの種類ごとに図表形式で表示されます。

[アクティビティ] タブ

注意

ノンストップバックアップとモバイルバックアップには、アクティビティのフィードがありません。

バックアップアクティビティを表示する手順は、次のとおりです。

1. サイドバーで[**バックアップ**]をクリックします。

- 2. バックアップリストで、履歴を表示するバックアップを選択します。
- 3. 右側のペインで [**アクティビティ**] をクリックします。

0	正常にバックアップされました 今日 15:16					
	バックアップ済み	速度	経過時間	復元対象のデータ	種類	
	18.5 MB	3 Mbps	51秒	18.45 GB	増分	

表示対象と分析対象:

- バックアップ操作とその状況(正常、失敗、キャンセル、中断など)
- バックアップに対して実行された操作とその状況
- エラーメッセージ
- バックアップのコメント
- バックアップ操作の詳細。これには、次のものが含まれます。
 - 。 [バックアップ済み]: バックアップデータのサイズ(圧縮データ)。
 - [速度]: バックアップ操作の速度。
 - 。[経過時間]: バックアップ操作にかかった時間。
 - 。 [復元するデータ]: データの初期サイズ(非圧縮データ)。
 - [種類]: バックアップ操作の種類(完全、増分)。

詳細については、ナレッジベース http://kb.acronis.com/content/60104 を参照してください。

[バックアップ] タブ

バックアップを作成するときに、各種のバックアップファイルの統計を表示することができます。



カラーセグメントをポイントして、ファイルの数と各データカテゴリの合計サイズを表示します。

- ピクチャ
- ビデオファイル
- オーディオファイル
- ドキュメント
- システムファイル
- 隠しシステムファイルを含む、他のファイルタイプ

[復元対象のデータ]には、バックアップ対象として選択した元のデータのサイズが表示されます。

ラップトップ電源の設定

注意

この設定は、バッテリを搭載したコンピュータ(ラップトップ、UPSに接続されたコンピュータ)での み使用できます。

ラップトップで作業するときに電源が周りにない場合や、コンピュータが停電後にUPSに切り替えられ ている場合は、バッテリ電源を節約することをお勧めします。バックアップを長時間実行すると、バッ テリの電源が非常に速く消耗する場合があります。

バッテリの充電を節約する手順は、次のとおりです。

 [Acronis Cyber Protect Home Office] メニューの [基本設定] をクリックし、[バッテリセーバー] を クリックして、[バッテリ電力がこれを下回る場合はバックアップしない] チェックボックスをオンに します。次に [OK] をクリックします。

この設定をオンにすると、ラップトップ電源アダプタを取り外すか、停電時にコンピュータで UPS を使用した場合、バッテリの残り電力がスライダレベル以下になったら、現在のすべてのバックアップが一時停止されて、スケジュール済みバックアップは開始しません。電源アダプタを再び取り付けるか電源が復旧すると、一時停止されていたバックアップが再開されます。この設定のために実行されていなかったスケジュール済みバックアップも開始されます。

この設定は、バックアップ機能を完全にはブロックしません。いつでもバックアップを手動で開始できます。

ローカルモバイルバックアップは、この設定の影響を受けません。モバイルデータは、通常どおりコン ピュータ上のローカルストレージにバックアップされます。

Acronis Cloud へのバックアップ用の Wi-Fi ネットワーク

Acronis Cloud にデータをバックアップする場合、保護されていない Wi-Fi ネットワークで個人データ が伝送されるときのセキュリティが懸念されることがあります。個人データの盗難のリスクを避けるに は、保護された Wi-Fi ネットワークだけを使用することを強くお勧めします。

データを保護するには、次のようにします。

 [Acronis Cyber Protect Home Office] メニューで [基本設定]、[Wi-Fi ネットワーク] の順にクリック して、[選択した Wi-Fi ネットワークのみを使用してバックアップする] を選択します。登録済みのす べての Wi-Fi ネットワークを含む [登録済みネットワーク] ボックスで、データのバックアップに使用するネットワーク(複数可)の横のチェックボックスをオンにします。

ネットワークをいくつか選択した場合、コンピュータがそれらのいずれにも接続できないと、現在のす べてのバックアップが一時停止され、スケジュール済みバックアップは開始しません。コンピュータが このいずれかのネットワークに接続されると、一時停止したバックアップが再開されます。この設定の ために実行されていなかったスケジュール済みバックアップも開始されます。

新しい Wi-Fi ネットワークを使ってデータをバックアップするには、単にこのネットワークをコン ピュータに保存して、[登録済みネットワーク] ボックスでそれを選択するだけです。新しいネットワー クを使用する必要が生じるたびに、これを行うことができます。

ローカルモバイルバックアップは、この設定の影響を受けません。モバイルデータは、通常どおりにコ ンピュータ上のローカルストレージにバックアップされます。

通知

macOS 通知センターでの通知

macOS 通知センターで Acronis Cyber Protect Home Office 通知を複製すると、Acronis Cyber Protect Home Office コンソールを開かなくても通常の場所でそれらの通知を表示できます。macOS 通知セン ターでは通知が自動的に表示されます。

製品内通知を通知センターで複製するには、[Acronis Cyber Protect Home Office] メニューで、[基本設 定] をクリックし、[通知センターに通知を表示する] チェックボックスをオンにします。

Acronis トレイ通知センターでの通知

Acronis Cyber Protect Home Office が開いているときは、操作のステータスが表示されます。ただし バックアップなどの操作には時間がかかる可能性があるので、結果を知るために Acronis Cyber Protect Home Office を開いたままにしておく必要はありません。macOS 通知センターの中の通知はユーザーに よって閉じられるまで開いたままになりますが、いったん閉じた通知を開くことはできません。その情 報を見るには Acronis Cyber Protect Home Office を開く必要があります。

トレイ通知センターには最近の通知が一か所に表示され、Acronis Cyber Protect Home Office を開かな くても、必要なときに重要な操作ステータスを確認できます。 Acronis トレイ通知センターに表示され る通知は、ユーザー個人へのお勧め、バックアップ操作の結果情報、Acronis Cyber Protect Home Office からのその他の重要通知です。 トレイ通知センターは最小化され、Mac トレイの Acronis Cyber Protect Home Office の下で非表示になります。

電子メールによるバックアップステータスの通知

バックアップの完了を待てない場合、またはスケジュールされたバックアップを追跡する場合は、お使 いの電子メールアドレスでバックアップステータスのレポートを受け取ると便利です。これを使用する と、コンピュータの近くにいない場合でも、バックアップで何らかの問題が生じた場合にすぐに通知を 受け取ることができます。

Eメール通知を設定する手順は、次のとおりです。

1. [Acronis Cyber Protect Home Office] メニューで、[電子メールによる通知の設定] をクリックしま す。

オンラインダッシュボードの[電子メールによる通知]ページがWebブラウザに開きます。

- 2. 受信するメッセージの種類を選択します。
- 3. 通知の送信先電子メールアドレスを入力します。
- 4. 次の変数を使用して、メッセージの件名テンプレートを入力します。
 - [コンピュータ名]
 - [処理ステータス]
 - [バックアップ名]

たとえば、バックアップレポート: [バックアップ名] - [コンピュータ名] の [処理ステータス] 5. **[保存]** をクリックします。

Parallels Desktopのサポート

Parallels Desktopとは

Parallels Desktopとは、特別な仮想環境を使用することで、Mac上で別のオペレーティングシステムを 実行できるアプリケーションです。通常は Windows を実行するために使用されますが、macOS、 Linux、Google Chrome OS などのオペレーティングシステムを実行することもできます。詳細について は、Parallels の Web サイト(https://www.parallels.com/jp/products/desktop/)を参照してくださ い。

Acronis Cyber Protect Home Office では Parallels Desktop 仮想マシンがどのように処理されるのですか?

Acronis Cyber Protect Home Office では、Parallels Desktop 16 以上で作成した仮想マシンが完全サポートされています。Macをバックアップすると、仮想マシンもバックアップされます。Mac の復元時に、仮想マシンがバックアップ開始時の状態に戻ります。リカバリ後も、仮想マシンはすべて一貫性を維持し、起動可能です。

どのように動作しますか?

バックアップを実行するたびに、Acronis Cyber Protect Home Office はバックアップ対象として選択さ れたディスクまたはフォルダに保存されているすべての Parallels Desktop 仮想マシンのスナップ ショットを作成します。これらのスナップショットは、Macのリカバリ時にタイムポイントとして使用 されます。作成済みのスナップショットがバックアップ内に保存されると、スナップショットはMacか ら自動的に削除されます。

どの仮想マシンがバックアップされますか?

Acronis Cyber Protect Home Office は、次のようなすべての仮想マシンをバックアップします。

- バックアップされているディスクに保存されている仮想マシン
- Parallels Desktopアプリケーションに追加されている仮想マシン
- 現在実行中、停止中、および一時停止中の仮想マシン

仮想マシンをリカバリするにはどうすればよいですか?

仮想マシンが Parallels Desktop 16 以上で作成されている場合、復元されるすべての仮想マシンはリカ バリ後にブートされます。以前のバージョンの Parallels Desktop をお使いの場合は、recreate_pd_ hdd.sh スクリプトを実行して、リカバリした仮想マシンをブータブルにする必要があります。

Acronis True Image (2017 以降)では、このスクリプトは製品に同梱されており、

/Applications/Acronis True Image.app/Contents/MacOS/recreate_pd_hdd.sh にあります。Acronis Cyber Protect Home Office では、このスクリプトは製品に同梱されており、/Applications/Acronis Cyber Protect Home Office.app/Contents/MacOS/recreate_pd_hdd.sh にあります。 以前のバージョ ンをお使いの場合は、https://kb.acronis.com/system/files/content/2016/08/49198/recreate_pd_ hdd.zip からスクリプトをダウンロードしてください。

スクリプトを実行するには、次のようにします。

- 1. スクリプトの.zip ファイルを解凍します。
- 2. ターミナルを開きます。
- 3. 次のように入力します。bash "[script_path]" "[vm_path]"
 - [script_path] はスクリプト ファイルのパスです。
 - [vm_path] はフォルダのパスです。復元される仮想マシンはこの場所に置かれます。

たとえば、次のようになります。

bash "/Applications/Acronis Cyber Protect Home Office.app/Contents/MacOS/recreate_pd_ hdd.sh" "/Users/John/Downloads/My Windows Virtual Machine.pvm"

注意

PD マシンを新しい仮想マシンとして復元する(以前のものを上書きしない)ことをお勧めします。

制限

Boot Campパーティションを使用するようにParallels Desktop仮想マシンを構成している場合、次の制限事項に注意してください。

- 仮想マシンが実行中の場合、Boot Campパーティションのバックアップはほとんどのケースで失敗します。
- 仮想マシンが一時停止中の場合、Boot Campパーティションのバックアップは成功しますが、バック アップからの復元はほとんどのケースで失敗します。
- 仮想マシンが一時停止中の場合、Boot Campパーティションへの復元は失敗します。かわりに、Boot Campパーティションを削除して、これをバックアップから未割り当て領域に復元します。

バックアップリスト

バックアップリストで作業している間は特別なアイコンが表示されます。これらのアイコンは、バック アップの種類と現在のバックアップ状態を示します。



バックアップの状態

アイコン	説明
•	バックアップが正常に完了しました。
•	バックアップはキューに入れられています。
•	バックアップが進行中です。
(点滅)	
0	バックアップはユーザーにより一時停止されました。
•	前回のバックアップに失敗しました。
•	バックアップは警告を伴って完了しました。

リスト内でのバックアップの並べ替え

デフォルトでは、バックアップは作成日の新しい順に並べ替えられます。順序を変更するには、バック アップリストの上部にある並べ替えの種類から適切なものを選択します。次の選択肢があります。

コマンド		説明				
	名前	このコマンドは、すべてのバックアップをアルファベット順に並べ替えます。				
		順序を逆にするには、 [Z→A] を選択します。				
	作成日	このコマンドは、すべてのバックアップを新しい順に並べ替えます。				
		順序を逆にするには、 [古い順] を選択します。				
¥ .>++	アップ デート	このコマンドは、すべてのバックアップを最新の日付順に並べ替えます。バックアップ バージョンが新しいほど、リストの上位に配置されます。				
业へ督 え基準	日 	順序を逆にするには、 [参照頻度の低い順] を選択します。				
	サイズ	このコマンドは、すべてのバックアップをサイズの大きい順に並べ替えます。				
		順序を逆にするには、 [小さい順] を選択します。				
	対象の	このコマンドは、すべてのバックアップを対象の種類ごとに並べ替えます。				
	保存先 の種類	このコマンドは、すべてのバックアップを保存先の種類ごとに並べ替えます。				

ブータブルメディアの作成

Acronis ブータブルメディア の作成

Acronis ブータブルメディア は、ブート ファイルが格納されているリムーバブルドライブです。Mac が 起動しない場合は、このドライブを使用して Acronis リカバリ環境を起動し、作成済みのバックアップ から Mac をリカバリします。

注意

Fusion Drive および SoftRAID で初期化されたディスクは、Acronis ブータブルメディア および Acronis Survival Kit のターゲットとしてはサポートされません。

まだバックアップを用意していない場合は作成してください。 詳しくは、「ローカルストレージまたは ネットワークストレージへのバックアップ」、「Acronis Cloud へのバックアップ」を参照してくださ い。

警告

Acronis ブータブルメディア を使用することが、Acronis Cyber Protect Home Office のバックアップから Mac をリカバリする唯一の方法です。

Acronis ブータブルメディア を作成するには、以下の手順に従います。

1. Mac にリムーバブルドライブを接続します。

APFS または Mac OS 拡張ファイルシステムでフォーマットされ、4.3GB 以上の空き容量があるリ ムーバブルドライブを使用できます。具体的には、外付けハードディスク ドライブや USB フラッ シュドライブを使用することができます。CD および DVD メディアはサポートされていないのでご 注意ください。

- 2. Acronis Cyber Protect Home Office を開きます。
- 3. [ファイル] メニューの [Acronis ブータブルメディアの作成] をクリックします。表示されたウィン ドウで、[メディアの作成] をクリックします。
- 4. Acronis メディアビルダー ウィンドウが開きます。

•••	Acronis ブータブル メディアの作り	成				
「「」 バックアップ	ブータブルにするディスクを選択します。 成されます。	ブータブルメディアファイル用	の新しい特別なパ-	-ティションがディスク上に	作	
多 保護	Data Disk WD Elements 25A2			930.8 GB空き 合計931.48 GB		
「二」 ディスクのクローン作品					A	
🖃 アーカイブ					orania Cla	ud
<u>থি</u> স্ম ঠ ২৮					ップサイズ: 1 うち 979.72 GE	uu 21.4 MB 3 が未使用
	キャンセル メディアの作成		cするデータ: 1	55.4 MB ?		
		● ピクチャ 35.2 MB ❷ ペリファイ(確認)ツール	● ビデオ 36.7 MB レを開く	● <i>オーディオ</i> 35 MB	● ドキュメント 31.6 MB	その他17 MB
	十 バックアップを追加	💭 次回のバックアップ:	今日 19:44	[設定] で手手	协で管理できます。	バックアップ

- 5. ブータブルにするドライブを選択します。
- 6. [メディアの作成] をクリックします。

Acronis Cyber Protect Home Office は選択されたドライブに小さなパーティションを作成して、そ こにブートファイルを書き込みます。これを作成するために、既存のボリュームのいずれかのサイズ が変更されます。ディスクが GPT ではなく、Mac OS 拡張または APFS とは異なるファイルシステ ムである場合、Acronis Cyber Protect Home Office はディスクのフォーマットを推奨します。ディ スクをフォーマットすると、そのディスクに保存されているすべてのデータが消去されることに注意 してください。

7. 処理が完了したら、メディアを取り外して安全な場所に保管します。メディアにデータを保存することはできますが、Acronis ブートファイルは削除したり変更したりしないようにしてください。

注意

macOS を新しいバージョンにアップグレードするたびに、新しいブータブルメディアを作成することをお勧めします。作成しなかった場合、ブータブルメディアが正常に機能しなくなることがあります。

重要

Acronis ブータブルメディア を使用して Apple シリコンを搭載した Mac を起動する場合、SoftRAID で 初期化されたディスクは使用できません。

Acronis Survival Kit の作成

Acronis Survival Kit とは

障害発生時に Mac をリカバリするために必要な 2 つの重要なコンポーネントとして、システムディス クのバックアップとブータブルメディアがあります。ほとんどの場合、これらのコンポーネントは別々 に保管されます。たとえば、システムバックアップは外付けドライブまたは Acronis Cloud に置かれ、 ブータブルメディアは小さな USB フラッシュドライブです。Acronis Survival Kit は、両方のコンポー ネントをまとめたもので、障害が発生した場合にコンピュータを復元するために必要なすべてのものを 1つのデバイスに備えることができます。これは、Acronis ブータブルメディア ファイルと、システム パーティションまたはコンピュータ全体のバックアップが入った外付けのハードドライブです。

Acronis Survival Kit のデバイスには、32 GB 以上の容量の、Mac OS 拡張または APFS ファイルシステムの外部ハードドライブを使用してください。ドライブが別のファイルシステムである場合、Acronis Cyber Protect Home Office はドライブのフォーマットを勧めます。

注意

Fusion Drive および SoftRAID で初期化されたディスクは、Acronis ブータブルメディア および Acronis Survival Kit のターゲットとしてはサポートされません。

Acronis Survival Kit を作成するにはどうしたらよいですか?

システムまたは Mac 全体のローカルバックアップを設定して、宛先として外付けドライブを選択する場合、Acronis Cyber Protect Home Office はこのドライブをブータブルにすることを推奨します。



Acronis Survival Kit を作成するには、次のようにします。

- 1. [バックアップ] または [Acronis Survival Kit の作成] をクリックします。
- 2. 表示されたウィンドウで、[作成]をクリックします。

Acronis Cyber Protect Home Office は選択されたドライブに小さなパーティションを作成して、そこにブートファイルを書き込みます。これを作成するために、既存のボリュームのいずれかのサイズが変更されます。ディスクが GPT ではなく、Mac OS 拡張または APFS とは異なるファイルシステムである場合、Acronis Cyber Protect Home Office はディスクのフォーマットを推奨します。ディスクをフォーマットすると、そのディスクに保存されているすべてのデータが消去されることに注意してください。

 ブートファイルが正常にドライブに書き込まれると、そのブータブルメディアを使用して、Macを リカバリすることができます。Acronis Survival Kit の作成を完了するには、システムのバックアッ プをドライブに保存する必要があります。これを行うには、[バックアップ]をクリックします。こ の手順をスキップする場合、後からこのドライブにシステム バックアップを作成することを忘れな いでください。詳細については、「ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバック アップ」を参照してください。

Acronis Survival Kit の準備ができたら、それを使用して Mac をリカバリできます。詳細について は、「Macのリカバリ」を参照してください。

リカバリ

Mac をリカバリするタイミング

コンピュータが起動しない、または macOS や一部のアプリケーションが正常に動作しない場合は大 抵、ディスクイメージからオペレーティングシステムをリカバリするタイミングと言えるでしょう。最 初に、問題の原因を特定することをお勧めします。

システムエラーの原因には、2つの基本的な要因があります。

• ハードウェア障害

この場合は、ハードウェア メーカーのサービス センターに問い合わせることをお勧めします。

オペレーティングシステム、アプリケーション、またはデータの損傷
 障害の原因がウィルス、マルウェア、システムファイルの損傷である場合は、バックアップからシステムをリカバリします。詳細については、「Macのリカバリ」を参照してください。

問題の原因を特定する手順は、次のとおりです。

- 1. ケーブル、コネクタ、外付けデバイスの電源などを確認します。
- 2. Mac を再起動します。Mac の起動中に **Option** キーを押し続けます。リカバリ メニューが表示され ます。
- 3. 一覧から [ディスク ユーティリティ] を選択し、[続行] をクリックします。
- 確認するディスクを選択し、[First Aid] をクリックします。
 ディスク故障の可能性がディスク ユーティリティによって示された場合は、ディスクの物理的な状態に原因があります。たとえば、不良セクタが含まれている可能性があります。可能な限り早くディスクをバックアップして置き換えることをお勧めします。
- 5. [ディスクを検証] をクリックします。
 - エラーが存在する場合は、[ディスクを修復]をクリックします。ディスクが正常であること、または修復されたことがディスクユーティリティによって示された場合は、Macを再起動し、通常の使用を継続します。エラーが解消されない場合は、Acronis Cyber Protect Home Office バックアップから Mac を復元します。詳細については、「Macのリカバリ」を参照してください。
 - ディスクユーティリティでエラーが検出されなかった場合は、Acronis Cyber Protect Home Office バックアップから Mac を復元します。詳細については、「Macのリカバリ」を参照してく ださい。

Mac のリカバリ

Mac が起動しない、または正常に動作しない場合は、次の手順を実行して Mac をリカバリします。

- 1. 次のものが用意されていることを確認してください。
 - 以前に作成した Acronis Cyber Protect Home Office バックアップ。バックアップがない場合はリカバリを実行できません。詳細については、「ローカルストレージまたはネットワークストレージへのバックアップ」および「Acronis Cloud へのバックアップ」を参照してください。

- Acronis ブータブルメディア。用意していない場合は、Mac で Acronis Cyber Protect Home Office を起動し、可能な限り早くメディアを作成してください。詳細については、Acronis ブータ ブルメディアの作成を参照してください。
- 2. Mac にブータブル メディアを接続します。
- 3. ブートメニューを表示する手順は、次のとおりです。
 - [Intel ベースの Mac の場合] Mac を起動または再起動します。Macの起動中にOptionキーを押し 続けます。
 - [Apple シリコンを搭載した Mac の場合] Mac をシャットダウンします。電源ボタンを押し続けます。
- 4. 起動元のデバイスとして Acronis ブータブルメディア を選択します。ユーティリティが表示されます。
 - [Intel ベースの Mac の場合] [Acronis Cyber Protect Home Office バックアップから復元しま す] を選択した後、[続行] をクリックします。
 - Apple シリコンを搭載した Mac の場合、[Acronis ブータブルメディア]を選択した後、[復元] を クリックします。
- 5. 表示されたウィンドウで、バックアップの場所を選択します。
 - Acronis Survival Kit
 - ローカルストレージ
 - Acronis Cloud マイアカウントにサインインします。
 - ・ [ネットワーク]

バックアップを選択して、[開く]をクリックします。

- 6. 一覧から Mac のリカバリに使用するバックアップのバージョンを選択して、[次へ] をクリックしま す。選択したバージョンの内容が表示されます。
- リカバリ対象のパーティションの横にあるチェックボックスをオンにします。各パーティションのリカバリ先を選択します。



注意

Acronis Cyber Protect Home Office がバックアップ内の各パーティションのターゲットを自動的に 判断する場合は、簡易ビューが表示されます。このモードでは変更を加えることができません。手 動でパーティションを選択する必要がある場合は、[詳細ビュー] ボタンをクリックします。

- 8. リカバリを開始するには、[**リカバリする**]をクリックし、リカバリ先のパーティションにあるデー タをすべて消去することを確認します。
- [macOS Big Sur 11、Monterey 12、および Ventura 13 の場合] 起動できないデータボリュームで データのみをリカバリする必要がある場合は、プロンプトで求められたら、[データの復元] をク リックします。macOS がインストールされたブータブルボリュームが必要な場合は、[再起動して復 元] をクリックします。これにはインターネット接続が必要です。
- 10. [macOS Big Sur 11、Monterey 12、および Ventura 13 以外の場合] 復元が完了したら、Mac を再起 動します。

Boot Camp パーティションに関する FAQ

- Boot Camp パーティションをバックアップするにはどうすればよいですか?
 Boot Camp がインストールされているハード ドライブをバックアップします。バックアップには、 ドライブに保存されているすべてのデータ(Boot Camp パーティションを含む)が格納されます。
- Boot Camp パーティションを個別にバックアップすることはできますか?
 Acronis Cyber Protect Home Office ではディスクレベルのバックアップのみを作成することが可能なため、個別にバックアップすることはできません。代替の方法として、Boot Camp パーティションが含まれているハード ドライブをバックアップすることができます。
- Boot Camp パーティションをリカバリするにはどうすればよいですか?

リカバリはブータブルメディア環境で実行できます。リカバリ元およびリカバリ先を選択するとき に、一覧表示されるパーティションをすべて選択します。この操作により、ハード ドライブ全体がリ カバリされます。Boot Camp パーティションのみをリカバリするには、該当のパーティションの横 にあるチェックボックスをオンにして、それ以外のチェックボックスをオフにします。

- リカバリを実行する前に Boot Camp パーティションのサイズを変更することはできますか?
 Boot Camp パーティションのサイズはバックアップ時と同じであるため、サイズを変更することはできません。
- Boot Camp パーティションのリカバリ先として選択できる場所はどこですか?
 任意のリカバリ先を選択できますが、Boot Camp パーティション自体にリカバリを実行することを 強くお勧めいたします。
- バックアップ済みの Boot Camp パーティションから特定のファイルをリカバリすることはできます か?

その他のファイルのリカバリ方法と同様に、制限なくファイルをリカバリすることができます。

 ハードドライブを新しいものに取り替えたいのですが、新しいハードドライブに macOS、Boot Camp パーティション、およびすべてのデータのクローンを作成できますか?

作成できます。クローンを作成するには、次の操作を実行します。

- 1. 外部のストレージメディア(USBドライブやネットワーク共有など)にハードドライブをバック アップします。
- 2. Mac の電源をオフにし、ハード ドライブを新しいものに交換します。
- 3. Acronis ブータブルメディア を使用して Mac を起動します。
- 4. バックアップから新しいハード ドライブに Mac をリカバリします。

ファイルとフォルダのリカバリ

バックアップから特定のファイルやフォルダを復元する必要がある場合は、次の手順を実行します。

Acronis Cyber Protect Home Office でデータを復元する場合は、次のようにします。

1. 左側のペインで、リカバリするファイルやフォルダが含まれているバックアップを選択し、**[復元]** タブを開きます。

バックアップの内容がウィンドウに表示されます。

•••	バックアップ	Documents		
「「」 バックアップ	▼ このMac =	パックアップ アクティビティ	復元	
	Documents	Q 検索	バックアップバージョン:	一昨日 19:45 ᅌ
チ 保護	Acronis Cloud	名前 ^	· 変更日	サイズ 種類
	Macintosh HD Acronis Cloud	Documents Audio	2020/08/14 20:23 2020/08/14 20:23	フォルダ フォルダ
を ディスクのクローン作成		▶ ■ PDF	2020/08/14 16:31	フォルダ
	 Entire Mac Data Disk 	Pictures	2020/08/14 20:23	フォルダ
アーカイブ		Presentations	2020/08/14 20:23	フォルダ
	My folder Acronis Cloud	Video	2020/08/14 16:41	フォルタ フォルダ
(1) アカウント	5 T 0/1- (0)	VILCO	2020/00/14 10:20	2 4 70 2
	▶ その他 (3)			
		1つのフォルダ(155.4 MB)が元の:	場所に復元されます。	変更
	十 バックアップを追加	オプション		復元する

- [バックアップバージョン]の一覧で、バックアップ作成日をもとにバックアップバージョンを選択します。この手順を行うことで、ファイルおよびフォルダが指定の日付に保存された状態にリカバリされます。
- 3. リカバリするファイルまたはフォルダを選択します。
- (オプションの手順)デフォルトでは、選択したファイルやフォルダは元の場所にリカバリされます。リカバリ先の場所を変更するには、[変更]をクリックして、リカバリに使用する場所を参照します。
- 5. (クラウドバックアップのみで使用可能なオプションの手順) [オプション] をクリックし、ファイ ルリカバリオプションを構成します。詳細については、「ファイルリカバリオプション」を参照して ください。
- [リカバリする] をクリックします。処理が完了すると、選択した日時の状態にデータがリカバリされ、元の場所または指定した場所に保存されます。
 認証バックアップの場合、Acronis Cyber Protect Home Office は復元されたファイルの真正性も検証します。

Acronis Cloud でデータを復元する場合は、次のようにします。

Acronis Cloud に保存されているオンラインバックアップから特定のファイルやフォルダをリカバリで きます。この処理を実行するには、まず Acronis Cloud Web サイトを開く必要があります。

Acronis Cloud Web サイトを開く手順は、次のとおりです。

- Acronis Cyber Protect Home Office がインストールされている Mac で、次の操作を実行します。

- 1. Acronis Cyber Protect Home Office を開きます。
- 2. 左側のペインで、[アカウント]を選択します。
- 3. Acronis Cyber Protect Home Office セクションで、[データの参照] を選択します。

- インターネットに接続されているコンピュータまたはモバイル デバイスで、次のようにします。

- 1. Web ブラウザで、https://www.acronis.com/my/online-backup/webrestore/を開きます。
- 2. Acronis アカウントにログインします。

ブラウザでウェブアプリケーションが起動します。

ファイルやフォルダをリカバリする手順は、次のとおりです。

- Acronis Cloud Web アプリケーションの [バックアップ] タブで、必要なバックアップ名をクリック します。次に、復元するファイルまたはフォルダを選択します。[検索] フィールドを使用すること もできます。チェックマークを付けて必要なファイルまたはフォルダを選択します。
- [オプション] ファイル (フォルダではない)の特定のバージョンを復元するには、右サイドバーの
 [バージョン] をクリックします。次に、バックアップに必要な日時を選択し、この行のダウンロードアイコンをクリックします。
- 3. リカバリを開始するには、[ダウンロード]をクリックします。

選択したデータはデフォルトの [ダウンロード] フォルダにダウンロードされます。

Office 365 データの復元

Acronis Cyber Protect Home Office を使用すると、電子メールメッセージ、ファイルとフォルダ、プロ フィール情報、およびその他のデータの消失から個人の Office 365 アカウントを保護することができま す。アカウントデータのクラウドバックアップがある場合、それらのデータを参照して特定のアイテム を復元できます。

復元可能なアイテム

メールボックスバックアップから復元が可能なアイテムは次のとおりです。

- メールボックス全体
- 電子メールメッセージ
- 添付ファイル

OneDrive バックアップから復元が可能なアイテムは次のとおりです。

- OneDrive 全体
- バックアップされたファイルとフォルダ

Office 365 データの復元

データを参照して復元するには、次のようにします。

- 1. 次のいずれかを実行してオンラインダッシュボードを開きます。
 - https://cloud.acronis.comのリンクをクリックします。
 - Acronis Cyber Protect Home Office のサイドバーで、[アカウント]、[オンラインダッシュボード を開く] の順にクリックします。
- 2. Acronis アカウントにサインインします。
- 3. サイドバーで、 [**リソース**] をクリックし、Office 365 バックアップボックスを探してから、[復元] をクリックします。
- バックアップの一覧を参照します。必要に応じて、フィルタを使用して内容でバックアップを検索します。
- 5. バックアップを選択したら、[復元...]をクリックして、復元するデータを選択します。
 - OneDrive 全体または特定のファイルとフォルダ。
 - メールボックス全体または特定のメッセージ。

特定のアイテムの復元を選択すると、オンラインダッシュボードで、バックアップされたアイテムの 一覧が表示されます。これらのアイテムを参照したり、内容を表示できます。また、検索を使用して 特定のアイテムを見つけることもできます(一部のデータの種類には未対応)。

アイテムを選択した後、実行する操作を選択できます(データの種類に応じて、一部の操作は使用で きないことがあります)。

- [内容の表示] クリックすると、アイテムの詳細を表示したり、アイテムを最大サイズで開くこ とができます。
- [Send as email (電子メールとして送信)]: メッセージを選択した受信者に送信する場合にクリックします。
- [Show versions (バージョンの表示)]: アイテムのバージョンを表示する場合にクリックしま す。
- [復元]: 復元するアイテムの場所を指定する場合にクリックします。アイテムによっては、共有権 限を復元することもできます。
- [ダウンロード] クリックすると、選択したファイルをダウンロードできます。
- 6. [Start recovery (復元の開始)]をクリックします。

バックアップの内容の検索

ローカルバックアップからデータを復元する際、選択したバックアップ内に保存された特定のファイル やフォルダを検索できます。

ファイルやフォルダを検索する手順は、次のとおりです。

- ローカルストレージまたはネットワークストレージからのファイルのリカバリの説明に従ってデータの復元を開始します。
- 2. 復元するファイルやフォルダを選択する際、【検索】フィールドにファイル名またはフォルダ名を入力します。検索結果が表示されます。

ワイルドカード文字(*および?)も使用できます。たとえば、拡張子が「.exe」のファイルを検索するには、「*.exe」と入力します。「my」で始まる5文字のファイル名が付いた「.exe」ファイルを すべて検索するには、「my???.exe」と入力します。

- デフォルトでは、Acronis Cyber Protect Home Office は前の手順で選択したフォルダを検索しま す。バックアップ全体を検索対象にするには、[すべてのバックアップ] をクリックします。 前の手順に戻るには、クロスアイコンをクリックします。
- 4. 検索完了後、復元するファイルを選択したら、[次へ]をクリックします。

注意

[バージョン] 項目に注意してください。異なるバックアップバージョンに属するファイルやフォル ダを同時に復元することはできません。

ファイルリカバリオプション

バックアップ用に次のファイル復元オプションを選択できます。

[Preserve file permissions] このオプションを選択すると、バックアップファイルのすべてのセキュリティプロパティ(グループまたはユーザーに割り当てられる許可)が保存されます。デフォルトでは、ファイルとフォルダは元のセキュリティ設定(各ユーザーに付与される書き込み、読み取り、実行などの許可)と共にバックアップに保存されます。異なるユーザーアカウントを使用してバックアップされたファイル/フォルダをコンピュータでリカバリすると、そのファイルの読み取りや変更ができなくなる可能性があります。

このオプションをオフにして現在のユーザーのホームフォルダにファイルをリカバリすると、リカバ リされたファイル/フォルダの所有者は現在のユーザーになります。

 [既存のファイルを上書きする](ファイル/フォルダレベルのクラウドバックアップに対してのみ使用 可能):このオプションを選択すると、ハードディスクのファイルがバックアップのファイルと異な る場合、バックアップのファイルによって上書きされます。ファイルまたはフォルダのリカバリ時 に、ファイルまたはフォルダの最近の変更内容を維持する場合は、[Do not overwrite more recent files and folders] オプションを選択します。

Acronis Cloud Backup Download

Acronis Cloud Backup Download は、インターネット接続が不安定な場合でも、クラウドバックアップ を安全にダウンロードできるツールです。接続が切断されてもダウンロードは途中でキャンセルされ ず、一時停止され、後ほど再開することができます。さらに、ダウンロードしたバックアップからの復 元は、クラウドからの復元よりも非常に高速です。

Acronis Cloud Backup Download をインストールするには、次のようにします。

- 1. 次のいずれかの方法で、ツールをダウンロードします。
 - Acronis Cyber Protect Home Office を使用:メインメニューで、[ファイル] > [Cloud Backup の ダウンロード] をクリックします。
 - https://www.acronis.com/my/online-backup/webrestore/に移動し、Acronis アカウントにログ インします。サイドバーで、[バックアップ]をクリックしてから、リカバリするファイルのバッ クアップを選択します。詳細ビューで、[ダウンロード]をクリックします。次に、[Cloud Backupのダウンロード]ウィンドウで、[ツールのダウンロード]をクリックします。次に、必要 なバージョンのツールを選択してダウンロードします。
 - https://go.acronis.com/cloud-backup-download にあるダウンロードページに移動します。次に、必要なバージョンのツールを選択してダウンロードします。

注意

以前にインストール済みの場合でも、ツールはダウンロードされます。

- .dmg ファイルをダブルクリックして開きます。次に、Acronis Cloud Backup Download をダブル クリックしてツールを開きます。
- 3. ライセンス契約に同意して、サインインします。

クラウド バックアップのダウンロード

重要

ディスク、パーティション、またはマシン全体のバックアップのみ、TIBX 形式でダウンロードできま す。ファイルまたはフォルダのバックアップは、Acronis Cloud Backup Download ではダウンロードで きません。

- 1. Acronis Cloud Backup Download ツールを開始してサインインします。
- 2. [Acronis Cloud Backup Download] ウィンドウで、ダウンロードするバックアップを選択します。
- 3. [ダウンロードするバックアップを選択] ウィンドウで、特定のバックアップまたはバックアップ セット全体を選択します。
- 4. (オプションの手順) バックアップが暗号化されている場合は、パスワードを入力します。
- 5. ダウンロード先を選択し、[保存]をクリックします。

.tibx ファイルのダウンロードが開始されます。必要に応じて一時停止したり、キャンセルしたりすることができます。

ダウンロードされたバックアップを使用する方法

- データのバックアップを継続する場合は、バックアップを "既存のバックアップをリストに追加する" (37ページ) で説明されているように Acronis Cyber Protect Home Office に追加します。
- "ファイルとフォルダのリカバリ" (56ページ) で説明されているように、データをバックアップから 復元します。
- "Acronis Survival Kit の作成"(50ページ) で説明されているように、Acronis Survival Kit を作成します。
- "Acronis ブータブルメディア の作成"(49ページ) で説明されているように、ブータブルメディアを 作成します。

ディスクのクローン作成

ディスクのクローン作成ユーティリティ

通常のコピー処理では、新しいハードディスクドライブを古いハードディスクドライブとまったく同 じように使用することはできません。たとえば、Finderを開いて、すべてのファイルとフォルダを新し いハードディスクドライブにコピーしても、macOSは新しいハードディスクドライブから起動しませ ん。ディスクのクローン作成ユーティリティでは、すべてのデータを複製し、macOSを新しいハード ディスクドライブでブータブルにすることができます。その結果、新しいディスクが古いディスクのク ローンになります。

必要になる状況:

- 新しいiMacまたはMacBookを購入すると、macOSを含め、すべてのデータを古いMacから新しい Macへ転送する必要が生じる場合があります。
- そこで、Macのハードドライブのポータブルクローンを外部ドライブに作成したいと考えます。この外部ドライブがあれば、任意のMacに接続して、ブートし、そのMacを以前のMacの正確なコピーにすることができます。

使用できるドライブ:

- Macの内蔵システム ドライブ(ソース ディスクとしてのみ使用可能)
- Macの内蔵非システム ドライブ
- 別のMacの内蔵ドライブ
- 外付けドライブ
- USB フラッシュ ドライブ

宛先ドライブがソース ドライブより大きかったり、小さかったりする場合、宛先ドライブのスペースに 合わせてソース ドライブのパーティションのサイズが調整されます。唯一の例外は、パーティションが 1 GB未満の場合です。そのようなパーティションはサイズ調整されません。

宛先ディスクとソース ディスクのサイズは同じである必要はありませんが、宛先ディスク全体のサイズ はソース ディスクの使用済みスペースにその10%を加えたサイズより大きい必要があります。たとえ ば、Macのハードドライブが1000 GBであり、200 GBだけが使用されているとします。このクローンを 作成するには、宛先ドライブのサイズは200+10%=220 GB以上である必要があります。宛先ドライブが これより小さい場合は、ソースドライブから不要なデータを削除したり、データを外付けドライブまた は USB フラッシュドライブに移動したりしてください。データをクラウドストレージに移動すること もできます。

ディスクのクローンを作成

通常のコピー処理では、新しいハード ディスク ドライブを古いハード ディスク ドライブとまったく同 じように使用することはできません。たとえば、Finderを開いて、すべてのファイルとフォルダを新し いハードディスクドライブにコピーしても、macOSは新しいハードディスクドライブから起動しませ ん。ディスクのクローン作成ユーティリティでは、すべてのデータを複製し、macOSを新しいハード ディスクドライブでブータブルにすることができます。その結果、新しいディスクが古いディスクのク ローンになります。詳細については、「ディスクのクローン作成ユーティリティ」を参照してくださ い。

重要

Apple シリコンを搭載した Mac をクローン作成するには、最初にデータを外部ディスクにクローン作成 する必要があります。次に、データを外部ディスクから保存先の Mac に転送します。

ディスクのクローンを作成する手順は、次のとおりです。

- 1. Mac で Parallels Desktop 仮想マシンを実行している場合、仮想マシンをオフにしてください。
- ソースドライブとターゲットドライブが Mac に接続していることを確認します。別の Mac を接続す る必要がある場合は、その Mac がターゲットディスクモードで接続していることを確認してくださ い。詳細については、「2台の Mac の接続」を参照してください。
- 3. Acronis Cyber Protect Home Office を開きます。
- 4. サイドバーの[ディスクのクローン作成] をクリックし、[続行] をクリックします。
- 5. デフォルトでは、内蔵システムドライブがクローン作成元として事前に選択されています。これを変 更するには、クローン作成元のアイコンをクリックし、クローン作成対象のドライブを選択します。
- 6. ターゲットドライブを接続します。

注意

APM ディスクおよび SoftRAID で初期化されたディスクでは、クローニングはサポートされていま せん。APM ディスクを使用している場合は、GPT または MBR に変換することをおすすめします。

7. クローン作成先のアイコンをクリックし、クローンデータのターゲットドライブを選択します。

警告

クローン作成操作を開始すると、ターゲットドライブがフォーマットされ、保存されているデータ がすべて完全に削除されます。ディスクが空であるか、重要なデータが含まれていないことを確認 します。

8. [**クローン作成**] をクリックします。

Apple シリコンを搭載した Mac の場合は、追加で以下の手順を実行します。

- 1. クローン作成ディスクを保存先の Mac に接続します。
- 2. 保存先の Mac をシャットダウンしてから、起動オプションが表示されるまで**電源**ボタンを押し続け ます。
- 3. macOS リカバリを設定するには、[オプション] をクリックします。
- (ディスクユーティリティ)を選択します。ツールバーの [すべてのデバイスを表示] をクリックします。
- 5. Mac の内部ディスクを選択し、ツールバーの [**消去**] をクリックします。APFS 形式を選択し、消去 を確認します。消去後、Mac は再起動します。
- 6. Mac を有効化します。その後、終了して [リカバリユーティリティ] を表示します。

- 7. macOS の再インストールを選択し、次の手順に従って macOS を内蔵ディスクにインストールします。
- 8. macOS を最初に起動したときに、システム設定を行います。
- [Migration Assistant] ウィンドウで、Mac、Time Machine バックアップ、または起動ディスクか らデータを転送することを選択します。
- 10. [情報をこの Mac に転送する] ウィンドウで、クローン作成されたディスクを選択します。
- 11. [転送する情報を選択] ウィンドウで、表示されるすべての情報を選択し、パスワードを作成しま す。
- 12. Mac に Acronis Cyber Protect Home Office をインストールします。

何らかの原因でクローン作成処理が停止した場合は、処理をもう一度設定して開始する必要がありま す。データは消去されません。クローンの作成中に Acronis Cyber Protect Home Office によってオリジ ナルディスクやそこに保存されているデータが変更されることはありません。

Fusion Drive のクローン作成

Fusion Drive は、比較的低速なハードディスクドライブ(HDD)と高速なソリッドステートドライブ (SSD)を組み合わせたハイブリッドドライブです。Mac では、Fusion Drive は両方のドライブを合わ せた領域を持つ単一の論理ボリュームとして表示されます。

Acronis Cyber Protect Home Office を使用すれば、Fusion Drive を Fusion Drive または他のターゲットドライブにクローン作成することができます。

Fusion Drive をクローン作成するには、次のようにします。

- 1. Mac で Parallels Desktop 仮想マシンを実行している場合、仮想マシンをオフにしてください。
- ソースドライブとターゲットドライブが Mac に接続されていることを確認してください。不要な外付けドライブはすべて外します。
- 3. Acronis Cyber Protect Home Office を開きます。
- 4. サイドバーの [ディスクのクローン作成] をクリックし、[続行] をクリックします。
- 5. Fusion Drive をクローン作成ソースとして選択します。
- 6. ターゲットドライブを接続します。
- クローン作成先のアイコンをクリックし、クローンデータのターゲットドライブを選択します。 複数のディスクがある場合は、[Create a Fusion Drive (Fusion Drive を作成する)] チェックボッ クスが表示されます(¹)。Fusion Drive を作成する場合は、このチェックボックスをオンにしてか ら、2 つのディスクを選択します。選択内容を確認入力します。

警告

クローン作成操作を開始すると、ターゲットドライブがフォーマットされ、そこに保存されている データがすべて完全に削除されます。ディスクが空であるか、重要なデータが含まれていないこと を確認します。

8. [**クローン作成**] をクリックします。

1このオプションは、Apple シリコンを搭載した Mac には使用できません

2 台の Mac の接続

ハードドライブのクローンを別の Mac に作成するには、ターゲット Mac がターゲットディスクモード で接続している必要があります。

ターゲット Mac をソース Mac に接続する手順は、次のとおりです。

- 1. ソース Mac とターゲット Mac の両方を起動します。
- 2. FireWire ケーブルまたは Thunderbolt ケーブルを使用してこれらの Mac を接続します。
- ターゲット Mac で [アップルメニュー] > [システム環境設定] の順にクリックし、[起動ディスク]、 [ターゲットディスクモード] の順にクリックします。
 コンピュータを再起動すると、ソース Mac のデスクトップに新しいディスクアイコンが表示されます。この時点から、ターゲット Mac のハードドライブを通常の外付けドライブとして使用できます (クローン作成操作のターゲットドライブとして選択するなど)。
- 4. クローン作成操作が完了したら、ターゲットドライブのアイコンをゴミ箱に移動してターゲットドラ イブを取り出します。
- 5. ターゲット Mac をオフにし、ケーブルを外します。

家族間のデータ保護

家族間のデータ保護とは

家族間のデータ保護は、クロスプラットフォーム統合ソリューションであり、同一アカウントで共有す るすべてのコンピュータ、スマートフォン、およびタブレットの保護ステータスを追跡および制御する ことができます。これらのデバイスのユーザーは同じアカウントにサインインする必要があるため、通 常は家族の全員がユーザーになります。通常、家族の全員がこの機能を使用できますが、家族の中には 技術的な経験をお持ちの方がいることも多くなっています。そのため、その方が家族のデータを保護す るのに適任と言えます。

複数のデバイスの保護状況の追跡および制御には、ウェブベースのオンラインダッシュボードを使用し ます。これはインターネットに接続しているコンピュータであればアクセスが可能です。このウェブア プリケーションを使用して、ご家庭でも次のようなIT管理を実行できます。

- Windows、macOS、iOS、および Android が動作する、ご家庭内のすべてのデバイスのバックアップ および同期の現状を管理。
- 新しいデバイスをリストに追加。
- 任意のコンピュータで任意のバックアップを手動で起動。
- 保護されていないコンピュータの最初の完全バックアップを実行して Acronis Cloud に保存。
- Acronis Cloud にある任意のバックアップ(Windows、Mac、および iOS や Android を実行している デバイスからのバックアップなど)からデータをリカバリ。
- 製品に関連する問題の一部を解決。

新しいデバイスの追加

- 1. 追加するデバイスから、Web管理画面(https://cloud.acronis.com)を開きます。
- 2. ご自身のアカウントでサインインします。
- 3. [デバイス] タブで、[デバイスの追加] をクリックします。
- 4. Acronis Cyber Protect Home Office をダウンロードしてインストールします。
- 5. Acronis Cyber Protect Home Office を起動し、同じアカウントにサインインします。

任意のコンピュータのバックアップ

Web ベースのオンラインダッシュボードを使用して、同じアカウントを共有している任意のコンピュー タ(Windows または Mac)をバックアップできます。

デバイスがまだ保護されていない場合は、デフォルト設定を使用してバックアップできます。Acronis Cyber Protect Home Office では、デバイスのコンテンツ全体(たとえば、コンピュータ全体のバック アップ)が Acronis Cloud にバックアップされます。デフォルト設定はWebアプリでは変更できませ ん。設定をカスタマイズする必要がある場合は、このデバイス上で Acronis Cyber Protect Home Office を起動し、バックアップを手動で設定します。

任意のコンピュータをバックアップするには、次の手順を実行します。

- 1. https://cloud.acronis.comでWeb管理画面を開きます。
- 2. ご自身のアカウントでサインインします。
- 3. [**デバイス**] タブで、バックアップするデバイスを検索します。デバイスがオフラインの場合は、デバイスの電源がオンになっていることとインターネットに接続されていることを確認します。
- 4. 次のいずれかを実行します。
 - デバイスが以前にバックアップされている場合は、[今すぐバックアップ]をクリックします。
 Acronis Cyber Protect Home Office によって、設定済みのバックアップスキームに基づき、新しいバックアップバージョンが作成されます。
 - デバイスがまだバックアップされていない場合は、[バックアップを有効にする] をクリックして、バックアップが自動設定されるまで待機し、[今すぐバックアップ] をクリックします。
 Acronis Cyber Protect Home Office で新しい完全バックアップが作成され、Acronis Cloud にアップロードされます。

オンラインダッシュボードでのデータの復元

ウェブベースのオンラインダッシュボードを使用すると、複数のデバイス(Windows、Mac、スマート フォン、タブレットなど)からアップロードされた任意のオンラインバックアップでデータを復元でき ます。

オンラインバックアップからデータを復元するには、次の手順を実行します。

- 1. https://cloud.acronis.comでWeb管理画面を開きます。
- 2. ご自身のアカウントでサインインします。
- 3. [**デバイス**] タブで、復元するデータのバックアップ元デバイスを検索します。デバイスがオフラインの場合は、デバイスの電源がオンになっていることとインターネットに接続されていることを確認します。
- 4. [**リカバリする**] をクリックします。
- 5. 左側のパネルで、バックアップバージョンをバックアップ日時で選択します。
- 6. 右側のパネルで、復元するファイルおよびフォルダの横にあるチェックボックスをオンにします。
- 7. [**ダウンロード**] をクリックします。

データのアーカイブ

データのアーカイブについて

データのアーカイブは、サイズの大きいファイルや使用頻度の低いファイルを NAS、外付けハードドラ イブ、または USB フラッシュドライブに移動できるツールです。 Acronis Cloud に移動することもでき ます。 このツールを実行するたびに、選択したフォルダ内のデータが解析されて、移動対象となる推奨 のファイルが示されます。アーカイブするファイルやフォルダを選択できます。アーカイブへの移動が 完了すると、これらのファイルのローカルコピーは削除されます。これらのファイルへのリンクは、 Acronis Drive という特定の場所に保存されます。この場所には、Finderから通常のフォルダとしてアク セスできます。ファイルのリンクをダブルクリックすると、ローカルフォルダに保存されている場合と 同じようにファイルが開きます。 ファイルが Acronis Cloud にアーカイブされている場合は、最初に ファイルがコンピュータにダウンロードされます。ファイルへのアクセスおよび管理は、Acronis Cloud でも問題なく行うことができます。

データのアーカイブの主な機能は次のとおりです。

• ストレージを解放して空き容量を増やす

通常、最新の大容量ハードドライブの空き領域は、オペレーティングシステムやアプリケーションで はなく、写真やドキュメントなどのユーザーデータによって使用されます。大半のデータは必要に応 じて使用するので、常にローカルドライブに保存する必要はありません。データのアーカイブによっ て、よく使用するファイルのために空き領域を解放できます。

• クラウドアーカイブとローカルアーカイブ

アーカイブの保存先の種類として、内部ハードドライブ、外付けハードドライブ、NAS、USB フラッシュドライブが選択できます。Acronis Cloud を選択することもできます。保存先として Acronis Cloud を選択するたびに、選択されたデータが同一のクラウドアーカイブに保存されます。新しく アーカイブを作成する代わりに既存のアーカイブを選択することができますが、ローカルアーカイブ は互いに独立しており、それぞれ異なる名前、保存先、暗号化の設定などが可能です。ローカルアー カイブの数は制限されていません。

すべてのデバイスからクラウドアーカイブへ簡単にアクセス

Acronis Cloud にファイルをアーカイブした場合、Acronis Cyber Protect Home Office、Acronis Cyber Protect Home Office モバイルアプリケーション、および Acronis Cloud Web アプリケーショ ンを使用してファイルにアクセスすることができます。これらのアプリケーションは、Windows、 macOS、iOS および Android(タブレットとスマートフォン)のデバイスで利用可能です。

• クラウドアーカイブでのデータ保護

Acronis Cloud に保存したデータは、破損や災害から保護されます。たとえば、ローカルのハードド ライブでエラーが発生した場合、ファイルを新しいハードドライブにダウンロードできます。また、 データは暗号化された状態で保存されます。他のユーザーにデータにアクセスされないようにするこ とができます。

• ファイルの共有

Acronis Cloud にファイルをアップロードすると、公開リンクを作成できます。このリンクは、友人 とファイルを共有したり、フォーラムやソーシャルネットワークに投稿したりするときに使用できま す。

• ファイルバージョン

ファイルの編集と Acronis Cloud へのアップロードを繰り返した場合、Acronis Cyber Protect Home Office ではそれぞれのファイルバージョンでの変更がすべて保持されます。前のバージョンのファイ ルを選択して、デバイスにダウンロードすることが可能です。

アーカイブから除外されるもの

アーカイブのサイズを縮小し、システムの破損のおそれをなくすため、Acronis Cyber Protect Home Office では、デフォルトで、以下のデータをアーカイブの対象外としています。

- pagefile.sys
- swapfile.sys
- Network Trash Folder
- System Volume Informationフォルダ
- ごみ箱
- ・ .tib ファイルと .tibx ファイル
- .tib.metadataファイル
- ・.tmpファイル
- ・.~ファイル

完全なファイルリストについては、ナレッジベースの記事 https://kb.acronis.com/content/58297 を参照してください。

クラウドアーカイブとオンラインバックアップ

Acronis Cloud へのデータのアーカイブは、オンラインバックアップと似ていますが、多くの相違点が あります。

	オンラインバックアップ	クラウドアーカイブ
機能の 目的	オペレーティングシステムの破損、ハード ウェア障害、個別ファイルの紛失からのデー タの保護。	ローカルストレージデバイスのクリーンアップおよ び Acronis Cloud へのデータの移動。
データ の保護	 コンピュータ上の各データの全体的な保護 (特にオペレーティングシステム)。 使用頻度の高いファイルの保護。 	使用頻度の低いファイルや古いファイル(個人的な ドキュメントや写真など)の保護。
ソース データ の選択	手動選択。	手動選択。
ソース	ソースデータは元の場所に保持。	ソースデータは元の場所から削除。このことによ

データ の処理		り、ハードドライブやラップトップが盗難被害に あっても、データが不正に操作されることはありま せん。
データ の編集 頻度	編集頻度が高いデータの場合はバックアッ プ。通常、データのアップデートに応じて、 バックアップは複数のバージョンが存在しま す。	ほとんど編集しないデータの場合はアーカイブ。 ファイルは、ほとんどの場合、バージョンが作成さ れません。

データのアーカイブ作成

データのアーカイブ機能により、古いファイルや使用頻度の低いファイルを移動してストレージスペー スを解放することができます。詳細については、「データのアーカイブについて」を参照してくださ い。

データのアーカイブを作成するには、次の手順を実行します。

1. Acronis Cyber Protect Home Office を起動して、[アーカイブ] セクションに移動します。



- 2. (オプションの手順)データのアーカイブ作成機能の概要を確認する場合は、[はじめに]のスライド を表示します。
- 3. アーカイブ対象のファイルを選択するには、次のいずれかの操作を実行します。
 - (Finder などから) ファイルを [アーカイブ] 画面にドラッグします。
 - [Finder を参照] をクリックし、アーカイブ対象のファイルを選択します。

	アーカイブ	
	アーカイブ対象のデータ 🚯	¢
	My Archive /Volumes/Personal Disk	×
(見) アカウント		
Ŭ	ファイルをここにドロップするか Finderで参照します	
	保存先を選択 マ キャンセル アーカイブを開始 143.8	мв

- 4. [ターゲットの選択]をクリックし、アーカイブ対象ファイルの保存先を選択します。
- 5. (オプションの手順) その他の設定を行うには、歯車アイコンをクリックします。次の操作を実行で きます。
 - パスワードや暗号化を使用してアーカイブを保護するには、[設定]→[暗号化]の順にクリックします。詳細については、「アーカイブの暗号化」を参照してください。
 - 特定のデータセンターを選択し、アップロード速度を設定するには、[設定]→[詳細]の順にクリックします。詳細については、「Acronis Cloud データセンターの選択」を参照してください。
- 6. [アーカイブを開始] をクリックします。
- 7. アーカイブにファイルが移動されると、ファイルはコンピュータから自動的に削除されます。

アーカイブのネットワーク設定

データセンター

Acronis Cloud にファイルをアーカイブすると、各国の Acronis データセンターの1つにファイルが アップロードされます。はじめに、データセンターは、Acronis アカウントの作成時の場所に最も近い 場所が指定されます。デフォルトではそれ以降、アーカイブされたファイルは同一のデータセンターに 保存されます。

他の国に居住している場合、またはデフォルトのデータセンターが現在地から最も近い場所ではない場合、アーカイブ用のデータセンターを手動で設定することをおすすめします。データ アップロード速度 を大幅に高めることができます。

注意

アーカイブ処理の開始後にデータセンターを変更することはできません。

データセンターを選択するには、次の手順を実行します。

- 1. 最初にアーカイブ処理を設定する際に、[設定] アイコンをクリックして、[ネットワーク] をクリックします。
- 2. 現在地から最も近い国を選択し、[OK] をクリックします。

データのアップロード速度

Acronis Cloud にデータをアーカイブする場合、Acronis Cyber Protect Home Office の接続速度を変更 できます。速度の低下を気にすることなくインターネットを使用できる接続速度を設定します。

接続速度を設定する場合は、次のいずれかのオプションを選択します。

- [最大] データ転送速度は、システム構成の最大値になります。
- [カスタム] データのアップロード速度の最大値を指定できます。

アーカイブの暗号化

アーカイブされたデータを不正アクセスから保護するために、アーカイブを業界標準のAES(Advanced Encryption Standard)暗号化アルゴリズムで256ビットの長さのキーを使用して暗号化できます。

注意

既存のアーカイブのアーカイブ暗号化オプションを設定または変更することはできません。

アーカイブを暗号化する手順は、次のとおりです。

- 1. 最初にアーカイブ処理を設定する際に、[設定] アイコンをクリックして、[暗号化] をクリックしま す。
- アーカイブ用のパスワードを対応するフィールドに入力し、[OK] をクリックします。 パスワードはできる限り想像しにくいものにするため、8文字以上の、アルファベット(大文字と小 文字の両方を使用することが望ましい)と数字を含むものにしてください。 パスワードを取得することはできません。アーカイブの保護用に指定したパスワードは控えておいて ください。

アーカイブ済みファイルへのアクセス

ファイルが正常にアーカイブされると、次の方法でアーカイブにアクセスできます。

• Finder

Finder を起動し、[お気に入り] の [Acronis Drive] をクリックします。

ファイルは読み取り専用モードで操作できます。ファイルを変更するには、まずファイルを別のフォ ルダにコピーします。

- Acronis Cloud (クラウドアーカイブの場合のみ)
 - Acronis Cyber Protect Home Office を起動し、[アーカイブ] をクリックして、[Web ブラウザで 開く] をクリックします。
 - 2. Web サイトの [アーカイブ] タブで、必要なアーカイブをチェックマークで選択します。
 - 3. 右サイドバーで [**ダウンロード**] をクリックします。
 - 4. 選択したデータはデフォルトの [ダウンロード] フォルダにコピーされます。
データの共有

Acronis Cloud に保管されているバックアップおよびアーカイブに保管されているファイルおよびフォ ルダを共有できます。

- 1. Acronis Cyber Protect Home Office サイドバーで [アカウント] をクリックします。
- [Acronis Cloud Storage] セクションで、[データの参照] をクリックします。
 Acronis Cloud ブラウザページにリダイレクトされます。
- 3. 共有する内容に応じて、次の手順を実行します。
 - バックアップからファイルまたはフォルダを共有する場合は、左サイドバーで [バックアップ] を クリックします。チェックマークを付けて必要なファイルまたはフォルダを選択します。
 - アーカイブからファイルまたはフォルダを共有する場合は、左サイドバーで [アーカイブ] をクリックします。チェックマークを付けて必要なファイルまたはフォルダを選択します。
- 4. 右サイドバーで、[リンクの共有]をクリックしてください。
- 5. [オプション] 共有オプションを設定できます。これを行うには、リンクウィンドウで [**リンクの設** 定] をクリックします。パスワードを適用し、有効期限を設定し、ダウンロードの量を制限すること ができます。
- 6. リンクウィンドウで、[**リンクのコピー**]をクリックし、それを閉じます。

これで、このリンクを共有できるようになります。共有ファイルを表示するには、左サイドバーで[共 有]をクリックします。ここで任意のファイルを選択し、右側のサイドバーでそのリンクをコピーした り、リンク設定を構成したり、削除したりすることができます。



Acronis Cyber Protect Home Office は以下のような種類の保護を提供します。

- Active Protection は、通常の作業中に常にバックグラウンドで実行され、コンピュータをリアルタイムで保護します。
- ウィルス対策スキャンはオンデマンドで実行され、システム全体で不審なソフトウェアを徹底的に検出します。
- 脆弱性アセスメントは、バックグラウンドで実行される日単位のスキャンであり、システムとアプリの脆弱性を検出して、それらの重大度を評価します。

注意

この保護は、Acronis Cyber Protect Home Office UI でのみ有効または無効にできます。アクティビ ティモニタまたは他の外部ツールを使って手動でプロセスを停止することはできません。

[保護] ダッシュボード

[保護] ダッシュボードには、統計データが表示され、保護ステータスの制御や保護設定へのアクセスが 行えます。

[保護] ダッシュボードにアクセスするには、 サイドバーにある [保護] をクリックします。

ダッシュボードの[概要]タブでは、次の操作が行えます。

- Active Protection の状況に関する統計情報を表示する。
- 検出された問題数と検疫された項目数を表示する。
- ウィルス対策スキャンの最新レポートを表示する。
- スケジュール設定された次回のスキャン時刻を表示する。
- フルのウィルス対策スキャンを手動で実行する。これを実行するには、[フルスキャンを実行する]を クリックします。
- 検出された脆弱性の最新レポートを表示し、そこから新しいスキャンを実行します。
- 事前に設定した期間(30分、1時間、4時間、再起動まで)、保護全体を停止します。これを行うに は、[保護の停止]をクリックして期間を選択します。

注意

保護を一時停止すると、Active Protection が無効になります。スケジュール設定したオンデマンド スキャンは開始されません。

ダッシュボードの [アクティビティ] タブで、保護の状況および設定に適用した変更のログを表示できます。

Active Protection

コンピュータを悪意のあるソフトウェアから保護するため、Acronis Cyber Protect Home Office は Acronis Active Protection テクノロジを使用します。 Active Protection は、コンピュータの通常運用中に常にチェックを行います。通常のファイルに加えて、Acronis Active Protection は、Acronis Cyber Protect Home Office アプリケーションのファイルおよびバックアップを保護します。

Active Protection は、それぞれ独立して有効化できる次の2つの保護レベルで構成されています。

- ランサムウェア対策保護
- リアルタイム保護

ランサムウェア対策保護

ランサムウェアはファイルを暗号化し、暗号化キーの対価を要求します。

ランサムウェア対策保護サービスが有効な場合、コンピューターで実行されているプロセスがリアルタ イムで監視されます。ファイルの暗号化を試みるサードパーティのプロセスを検出すると、ユーザーに 通知され、プロセスを継続するかブロックするかを尋ねられます。

プロセスによるアクティビティの継続を許可するには、[信頼する] をクリックします。プロセスが安全 で正当なものかどうかが不明な場合は、[検疫] をクリックすることをお勧めします。クリックすると、 プロセスは [検疫] に追加され、アクティビティがブロックされます。

プロセスのブロック後のファイルのリカバリ

プロセスのブロック後に、ファイルが暗号化されていないかどうか、または破損していないかどうかを 確認することをお勧めします。暗号化されているまたは破損している場合には、[変更されたファイルを 復元する] をクリックします。Acronis Cyber Protect Home Office は、リカバリする最新のファイル バージョンを次の場所から検索します。

- プロセスの検証中に前もって作成したファイルの一時コピー
- ローカルバックアップ
- クラウドバックアップ

Acronis Cyber Protect Home Office が適切な一時コピーを見つけた場合には、それからファイルを復元 します。復元する適切なファイルの一時コピーがない場合、Acronis Cyber Protect Home Office はバッ クアップコピーを検索し、両方の場所で見つけたコピーの作成日付を比較して、使用可能な暗号化され ていない最新コピーからファイルを復元します。

注意

Acronis Cyber Protect Home Office は、パスワード保護されたバックアップからのファイルの復元をサポートしていません。

リアルタイム保護

リアルタイム保護が有効な場合、ユーザーが使用するファイルを常にチェックして、疑わしいアクティ ビティ、ウィルス、その他の不審な危険因子からコンピューターをリアルタイムで保護します。 リアルタイム保護の運用には2つのモードがあります。

- [スマートオンアクセス] システムのすべてのアクティビティが監視され、ファイルはアクセス時に スキャンされます。
- [実行時] 実行可能ファイルのみが起動時にスキャンされ、マシンに悪影響がないことが確認されます。
- リアルタイム保護では、ブロックされたファイルに対して次の操作を設定できます。
- [ブロックして検疫] マルウェアのアクティビティが疑われるプロセスをブロックし、ファイルを検 疫フォルダに移動します。
- [ブロックして通知] マルウェアのアクティビティが疑われるプロセスをブロックし、通知します。

[アクティビティ] リストで結果を確認できます。

Active Protection の設定

ランサムウェア対策保護を構成する

- 1. Acronis Cyber Protect Home Office サイドバーの [保護] をクリックした後に、[設定] をクリックし ます。
- 2. [Active Protection] タブに移動して、[ランサムウェア対策保護] を有効にします。

有効にすると、ランサムウェア対策保護により、バックグラウンドで実行される有害な可能性のあるア プリケーションやプロセスからコンピューターが保護されます。

リアルタイム保護を設定する手順は、次のとおりです。

- 1. Acronis Cyber Protect Home Office サイドバーの [保護] をクリックした後に、[設定] をクリックし ます。
- [Active Protection] タブに移動して、[リアルタイム保護] を有効にします。
 有効にすると、リアルタイム保護により、使用するすべてのファイルでマルウェアがチェックされます。
- 3. ファイルをチェックするタイミングを選択します。
 - [スマートオンアクセス] システムのすべてのアクティビティが監視され、ファイルはアクセス時 にスキャンされます。
 - [実行時] 実行可能ファイルのみが起動時にスキャンされ、マシンに悪影響がないことが確認されます。
- 4. 検出したオブジェクトに対する処理を選択します。
 - [**ブロックして通知**] マルウェアのアクティビティが疑われるプロセスをブロックし、通知しま す。
 - [**ブロックして検疫**] マルウェアのアクティビティが疑われるプロセスをブロックし、実行可能 ファイルを検疫フォルダに移動します。
- 5. **[OK]** をクリックします。

ウィルス対策スキャン

ウィルス対策スキャンは、Acronis Cyber Protect Home Office のウィルス対策保護およびマルウェア対 策保護のコンポーネントの1つです。オンデマンド(手動または事前に設定した間隔)でマルウェアを チェックすることにより、コンピュータを保護します。

2種類のスキャンから選択できます。

- フルスキャンはコンピュータ全体でウィルスをチェックします。フルスキャンは、除外リストで定義した除外ファイルまたはフォルダを除く、すべてのファイルとプロセス(またはファイルとプロセスのサブセット)を検証して、マルウェアを検出します。
- クイックスキャンは特定のファイルやフォルダのみをチェックします。クイックスキャンは、ウィル スが存在する可能性の高い特定のフォルダを検証して、マルウェアを検出します。

また、アーカイブファイル、外部ドライブ、新規および変更されたファイルのみといった、スキャン対 象も選択できます。

注意

スキャン処理の実行時にスリープモードがオンにならないよう Acronis Cyber Protect Home Office を 設定できます。デフォルトでは、このオプションが選択されていることに注意してください。

デフォルトでは、CPU の負荷が高い場合、他のアプリケーションが適切に実行されるようにウィルス対 策スキャンの優先度が下げられます。このため、CPU が高負荷の場合にはスキャン速度が遅くなりま す。このオプションを無効にすれば、スキャンプロセスの速度が速くなります。

スキャンの詳細レポートでウィルス対策スキャンの結果が確認できます。

ウィルス対策スキャンの設定

- 1. Acronis Cyber Protect Home Office サイドバーの [保護] をクリックした後に、[設定] をクリックし ます。
- 2. [ウィルス対策] タブに移動して、必要な設定を適用します。
- 3. スキャンタイプを設定するには、[**スケジュール**] タブで、必要なチェックボックスをオンにしま す。
 - [完全] デフォルトではこのオプションが設定されています。Acronis Cyber Protect Home Office は Mac 全体をチェックします。
 - [クイック] Acronis Cyber Protect Home Office は危険因子を含む可能性の高い特定のフォルダのみをチェックします。
- 4. ウィルス対策スキャンのスケジュールを設定するには、[**スケジュール**] タブで、必要なチェック ボックスをオンにして、スキャンプロセスの開始時刻を設定します。
 - [スケジュールを設定しない] 特定時刻でのスキャンの実行を設定しません。
 - [日単位] 毎日特定の時刻にスキャンを実行します。時刻を設定します。
 - [週単位] 週の特定の曜日にスキャンを実行します。曜日と時刻を設定します。

- [月単位] 月の特定の日にスキャンを実行します。
- [システムの起動時] オペレーティングシステムが起動するたびにスキャンを実行します。
- 5. 検出時の操作を設定するには、[オプション] タブで、必要なチェックボックスをオンにします。
 - [検疫] デフォルトではこのオプションが設定されています。Acronis Cyber Protect Home Office がマルウェアの可能性のある危険因子を検出すると、プロセスを停止し、疑わしいファイルを検 疫フォルダに移動します。
 - [通知のみ] 疑わしいプロセスを検出すると、マルウェアの可能性のある危険因子についての情報 がユーザーに通知されます。
- 6. スキャン対象を設定するには、[オプション] タブで、必要なチェックボックスをオンにします。
 - [アーカイブファイルをスキャン]
 - [外部ドライブをスキャン]
 - [ネットワーク共有と NAS をスキャン]
 - [新しいファイルと変更されたファイルのみスキャン]
- 7. ウィルス対策スキャン中のシステムの動作を設定するには、必要なチェックボックスをオンにしま す。
 - [スリープモードまたは休止モードを抑制] コンピュータはスキャンが実行されない限りシャット ダウンしません。
 - [起動時に未実行のタスクを実行]-システムのシャットダウン前に一部のタスクが完了していない 場合に、システムの再起動時にスキャンプロセスを再開します。
 - [他のアプリケーションを優先する] CPU の負荷が大きい場合には、ウィルス対策スキャンの優先度を下げて、他のアプリケーションが適切に実行されるようにできます。デフォルトではこの チェックボックスがオンになっています。この場合、スキャンに時間がかかります。
- 8. ウィルス対策スキャンのオプションを設定したら、[OK]をクリックして変更を保存します。

スキャンの詳細レポートでウィルス対策スキャンの結果が確認できます。

脆弱性アセスメント

脆弱性アセスメントは、Acronis Cyber Protect Home Office のウィルス対策保護およびマルウェア対策 保護のコンポーネントの1つです。これは、バックグラウンドで実行される日単位のスキャンであり、 システムとアプリの脆弱性を検出して、それらの重大度を評価します。必要に応じて、手動で実行する こともできます。

注意

脆弱性アセスメントには、安定したインターネット接続が必要です。

脆弱性を表示するには、以下を実行します。

- 1. 左サイドバーで [保護] をクリックします。
- 2. [脆弱性アセスメント]の[概要] タブで、[検出された脆弱性] をクリックします。レポートが表示されます。
- 3. 新規スキャンを実行するには、[スキャンの実行]をクリックします。

- 4. [オプション] Acronis Cyber Protect Home Office の脆弱性に関する詳細情報を表示するには、名前の横にある矢印をクリックします。[詳細情報] ウィンドウが開き、影響を受ける製品バージョンなどの脆弱性の詳細が表示されます。
- 5. [オプション] 脆弱性についての詳細情報を表示するには、以下を実行します。
 - レポートで、脆弱性の名前の横にあるiアイコンをクリックします。
 - [詳細] ウィンドウで、[詳細] をクリックします。

脆弱性の詳細な説明が記載された Web ページが表示されます。

 検出された問題を解決するには、影響を受けるアプリケーションの最新の更新をインストールしま す。次に、もう一度スキャンして、脆弱性が修正されていることを確認します。それらが解消されな い場合は、それはいくつかのアプリがまだシステムが危険にさらされるかもしれないことを意味しま す。データを完全に保護するには、マシン全体をバックアップし、マルウェア対策保護を有効にしま す。

脆弱性アセスメントを構成するには、以下を実行します。

- 1. 左サイドバーで、[保護]をクリックしてから、[設定]をクリックします。
- 2. [**脆弱性アセスメント**] タブに移動し、チェックボックスをオンまたはオフにして、脆弱性スキャン を有効または無効にします。

索引

[アクティビティ] タブ 42 [バックアップ] タブ 42 [保護] ダッシュボード 74

2

Γ

2 台の Mac の接続 65

Α

Acronis Cloud Backup Download 60 Acronis Cloud でのスペースのクリーンアップ 37 Acronis Cloud とは 21 Acronis Cloud にローカルバックアップをレプリ ケートする 25 Acronis Cloud のサブスクリプション 22 Acronis Cloud へのバックアップ 23 Acronis Cloud へのバックアップ用の Wi-Fi ネッ トワーク 43 Acronis Cyber Protect Home Office でのブロッ クチェーン技術の使用方法 27 Acronis Cyber Protect Home Office では Parallels Desktop 仮想マシンがどのよう に処理されるのですか? 45 Acronis Cyber Protect Home Office とは 7 Acronis Cyber Protect Home Office のインス トール、アップデート、アンインストール 9 Acronis Cyber Protect Home Officeの有効化 10 Acronis Mobile 30 Acronis Survival Kit とは 50

Acronis Survival Kit の作成 50 Acronis Survival Kit を作成するにはどうしたらよ いですか? 51 Acronis アカウントの作成 22 Acronis カスタマ エクスペリエンス プログラム 13 Acronis トレイ通知センターでの通知 44 Acronis の特許取得済みの技術 6 Acronis ブータブルメディア の作成 49 Acronis へのご意見の送信 13 Active Protection 74 Active Protection の設定 76

В

Boot Camp パーティションに関する FAQ 55

F

Fusion Drive のクローン作成 64

Μ

Mac Power Nap を使用する手順は、次のとおり です。 34 Mac のリカバリ 53 Mac をリカバリするタイミング 53 macOS 通知センターでの通知 44

0

Office 365 データのバックアップ 32 Office 365 データの復元 57 Office 365 データをバックアップする理由 32

Ρ

Parallels Desktopとは 45 Parallels Desktopのサポート 45

Т

Touch Barとの統合 16

あ

アーカイブから除外されるもの 69 アーカイブのネットワーク設定 71 アーカイブの暗号化 72 アーカイブ済みファイルへのアクセス 72 アプリケーションの基本設定 14

う

ウィルス対策スキャン 77 ウィルス対策スキャンの設定 77

お

オンラインダッシュボードでのデータの復元 67

き

キーボードショートカット 15

<

クラウドアーカイブとオンラインバックアップ 69 サブスクリプションライセンスを手動で管理する 12 サポートセンターのホームページ 17

さ

L

す

システム要件 7

スケジュール設定 33

τ

ディスクのクローンを作成 62 ディスクのクローン作成 62 ディスクのクローン作成ユーティリティ 62 データセンター 71 データのアーカイブ 68 データのアーカイブについて 68 データのアーカイブ作成 70 データのアップロード速度 41,72 データの共有 73

٢

どのように動作しますか? 45 どの仮想マシンがバックアップされますか? 45

は

バックアップ、バックアップバージョン、レプリ

カをクリーンアップする 35

バックアップアクティビティと統計 41

はじめに 7

バックアップ 18

Ζ

これらのアプリはどこにありますか? 31

© Acronis International GmbH, 2003-2022

バックアップからの項目の除外 38 バックアップのネットワーク設定 40 バックアップの暗号化 34 バックアップの状態 47 バックアップの内容の検索 58 バックアップリスト 47 バックアップ可能な対象と不可能な対象 19

۰Ŝ'n

ファイルとフォルダのリカバリ 56 ファイルの真正性の検証 28 ファイルの真正性の手動検証 29 ファイルリカバリオプション 59 ブータブルメディアの作成 49 プロセスのブロック後のファイルのリカバリ 75 ブロックチェーンとは 27 ブロックチェーン技術の使用 27

も

モバイルアプリケーションはどのようなデバイス をサポートしますか? 31 モバイルデバイスのバックアップ 29 モバイルバックアップのローカルのバックアップ

Ġ

ラップトップ電源の設定 43 ランサムウェア対策保護 75

先 31

り

リアルタイム保護 75 リカバリ 53 リカバリ可能なデータをオンライン バックアッ プから除外 39

リスト内でのバックアップの並べ替え 48

れ

レプリケーションの有効化 25 レプリケートする理由 25

ろ

ローカルストレージまたはネットワークスト レージへのバックアップ 20

漢字

仮想マシンをリカバリするにはどうすればよいで すか? 46 家族間のデータ保護 66 家族間のデータ保護とは 66 基本的な概念 18 既存のバックアップをリストに追加する 37 試用版情報 12 主な特徴 31 手動で項目を除外する 38 新しいデバイスの追加 66 制限 46 脆弱性アセスメント 78 接続設定 40 著作権情報 6 通知 44 電子メールによるバックアップステータスの通知 44 任意のコンピュータのバックアップ 66 認証バックアップ 26 復元可能なアイテム 57

保護 74

有効化されている製品の数が多すぎます。 11